

2024 年度

○履 修 案 内

○演習・少人数講義要項

東京大学経済学部

<令和6（2024）年度年間スケジュール（予定）>

以下の日程のうち、期間が確定していないものについては追って掲示する。
また、期間が確定しているものについても、変更となる場合があるので、必ず掲示を確認すること。

【S1】授業期間 4月5日（金）～5月24日（金）

4月1日（月）	前学期までの成績発表（UTAS参照） 進学手続
4月2日（火）	進学者ガイダンス
4月5日（金）～4月19日（金）	S1履修登録期間
4月20日（土）～5月1日（水）	S1履修登録修正期間
4月5日（金）～4月12日（金）11:00	演習・少人数講義参加申込（一次募集）
4月下旬	プロアクティブ・ラーニング・セミナー（S1・S2）申請期限
5月1日（水）23:59	卒業論文届提出期限

【S1】試験期間 5月27日（月）、5月28日（火）、5月29日（水）、5月30日（木）、5月31日（金）

【S2】授業期間 6月3日（月）～7月22日（月）

6月3日（月）～6月14日（金）	S2履修登録期間
6月15日（土）～6月20日（木）	S2履修登録修正期間
6月上旬	9月卒業見込届提出（3月に卒業延期となった者で9月卒業希望者のみ）
6月17日（月）予定	前学期までの成績発表

【S2】試験期間 7月23日（火）、7月24日（水）、7月25日（木）、7月26日（金）、7月29日（月）

【A1】授業期間 10月1日（火）～11月13日（水）

9月12日（木）予定	前学期までの成績発表（UTAS参照）
9月中旬	少人数講義追加参加申込期限（該当科目のみ）
10月1日（火）～10月14日（月）	A1履修登録期間
10月15日（火）～10月20日（日）	A1履修登録修正期間
10月上旬	プロアクティブ・ラーニング・セミナー（A1・A2）申請期限

【A1】試験期間 11月14日（木）、11月15日（金）、11月18日（月）、11月19日（火）、11月20日（水）

【A2】授業期間 11月28日（木）～1月24日（金）

11月28日（木）～12月12日（木）	A2履修登録期間（Wタームを含む）
12月13日（金）～12月16日（月）	A2履修登録修正期間（Wタームを含む）
12月上旬	卒業見込（延期）届提出（4年生全員）
12月5日（木）予定	前学期までの成績発表（UTAS参照）

【A2】試験期間 1月27日（月）、1月28日（火）、1月29日（水）、1月30日（木）、1月31日（金）

※1 授業期間及び試験期間等の詳細については、経済学部便覧の裏表紙を参照すること。

※2 試験期間に、原則として、授業（補講）は行わない。

※3 上記以外の主なスケジュールは次のとおり。

- 9月上旬 9月卒業決定者発表
- 9月下旬 東京大学秋季卒業式
- 1月上旬 卒業論文提出期限
- 1月中旬 卒業論文口述試験
- 2月上旬 転学科願提出（3年生のうち次年度の4月から学科変更を希望する学生のみ）
- 3月上旬 3月卒業決定者発表
- 3月下旬 東京大学卒業式・経済学部学位記伝達式

目次

I	履修案内	3
1.	卒業単位	5
2.	履修登録	7
3.	履修に際しての注意	8
4.	演習・少人数講義	12
5.	プロアクティブ・ラーニング・セミナー	13
6.	卒業論文	13
	―開講予定科目・授業担当者表	15
	―時間割（専門科目1）	31
II	演習・少人数講義参加者募集要項	37
1.	演習・少人数講義の履修	39
2.	演習・少人数講義の参加申込等	39
3.	演習・少人数講義案内	40
	―シラバス（演習）	43
	―シラバス（少人数講義）	77
III	その他、諸手続等	97

I 履修案内

I 履修案内

1. 卒業単位

1) 各学科における卒業に必要な単位について

各学科における卒業に必要な単位は以下のとおりです。この他に学科による履修の制限・要求はないので、どの科目区分からも履修できます。ただし、既習科目の再度履修は認められていません。

学科名	学科共通の 選択必修	各学科の 選択必修	総単位 (選択必修を含む)
経済学科	<u>専門科目 1</u> 20 単位	<u>専門科目 2</u> 18 単位	<u>80 単位</u> (3 学科共通) ・演習は 16 単位まで ・プロアクティブ・ラーニング・セミナーは 4 単位まで ・他学部科目は 14 単位まで ※詳細は、下記を必ず参照のこと。
経営学科	<u>専門科目 1</u> 20 単位	<u>専門科目 3</u> 18 単位	
金融学科	<u>専門科目 1</u> 20 単位	<u>専門科目 4</u> 18 単位	

- (a) 各科目区分（専門科目 1、2、3、4 及び選択科目）に該当する科目は、進学年度により異なります。詳細は、後掲の「開講予定科目・授業担当者表」により確認してください。
- (b) 演習は、年度（S 1・S 2・A 1・A 2）開講となっており、同一年度に 8 単位（2 演習）まで、在学期間内に 16 単位（同一演習は 8 単位）まで履修が認められています。
- (c) プロアクティブ・ラーニング・セミナーは、セメスター（S 1・S 2または A 1・A 2）開講となっており、同一セメスターに 2 単位（1 セミナー）まで、在学期間内に 4 単位まで履修が認められています。
- (d) 他学部科目（教職課程選択科目を含む）及びグローバル教養科目は、14 単位まで卒業単位に算入されます。そのうち、スポーツトレーニング実習は 2 単位まで算入が認められています。ただし、他学部科目（教職課程選択科目を含む）及びグローバル教養科目は、3 月卒業の場合は当該年度の A 1・A 2 または A 2 等の A 2（W を含む。）にかかる開講科目、9 月卒業の場合は当該年度の S 1・S 2 または S 2 等の S 2 にかかる開講科目の単位は算入されません。

2) 「遠隔授業」の取得単位数・上限 60 単位の取扱いについて

「遠隔授業」により取得する単位数について、卒業単位に含めることができるのは、学部前期課程（教養学部前期課程）及び学部後期課程（経済学部）を通じて、60 単位までとなります。常に単位取得状況や履修計画の確認を行い、当該上限 60 単位を超えることがないように、十分注意してください。

<授業実施形態>

各科目の授業実施形態は、次の①～⑤に分類されることになりますので、「UTAS」のシラバス等により、確認してください。

- ① 対面型（対面のみで実施）
- ② 対面・オンライン併用型 A（総時間数の半数以上を対面で実施）
- ③ 対面・オンライン併用型 B（総時間数の半数未満を対面で実施）
- ④ オンライン型（オンラインのみで実施）
- ⑤ オンデマンド型（すべての授業回数をオンデマンドで実施）

・①②の科目の単位を取得した場合、「対面授業」の単位として取り扱うことになります。

・③④⑤の科目の単位を取得した場合、「遠隔授業」の単位として取り扱うことになります。

・なお、やむを得ない事情により、授業実施形態について、「対面授業」から「遠隔授業」に、又は、「遠隔授業」から「対面授業」に変更となる場合もあります。

<補足>

・令和 2（2020）年度、令和 3（2021）年度において、上記授業実施形態③④⑤の科目により取得した単位については、コロナ禍における特例的な措置として、「対面授業」の単位として取り扱うことになります。

3) 定期試験について

経済学部では、専門科目 1、2、3、4 等の定期試験を行う科目について、定期試験を受験せずに単位を取得することはできません。

ー各タームの試験関係時間割については、掲示により事前周知を行います。

また、他の試験との重複や個別事情等によるレポート代替・追試験等、定期試験の特別措置は行いません。

2. 履修登録

1) 履修登録の方法について

- (a) UTAS (WEB 入力) により、各自で履修登録を行ってください。
- (b) 必ず UTAS において、履修登録状況の最終確認を行ってください。(UTOL (UTokyo LMS) の「受講登録」のみを行い、UTAS の履修登録が完了していない場合、当該履修登録は行われていないことになりますので、十分注意してください。)

2) 経済学部履修登録期間と履修登録修正期間について

- (a) 各ターム、経済学部の履修登録期間と履修登録修正期間が設定されています。具体的な期間については、本冊子の表紙の裏にある年間スケジュールを確認してください。なお、当該年間スケジュールは予定であり、変更となる場合があります。その場合には、掲示により事前周知を行います。
- (b) はじめに、履修登録期間内に、各自で履修登録を完了させてください。続いて、履修登録修正期間において、各自で履修登録の状況の最終確認を行い、追加・削除等の変更がある場合には、当該履修登録修正期間内に、各自で履修登録の変更を行ってください。(履修登録修正期間以降は、UTAS による履修登録の追加・削除等の変更を行うことができなくなりますので、十分注意してください。)

	授業日程			
	S 1	S 2	A 1	A 2
S 1 履修登録期間又は履修登録修正期間	S 1 開講科目			
	S 1 ・ S 2 開講科目			
	S 1 ・ S 2 ・ A 1 ・ A 2 開講科目			
S 2 履修登録期間又は履修登録修正期間		S 2 開講科目		
A 1 履修登録期間又は履修登録修正期間			A 1 開講科目	
			A 1 ・ A 2 開講科目	
A 2 履修登録期間又は履修登録修正期間				A 2 開講科目

- (c) 「経済学部科目」及び「他学部科目」とともに、各科目の授業が開始する最初のターム (S 1・S 2・A 1・A 2) の「経済学部の履修登録期間又は履

修登録修正期間」内に履修登録を行ってください。

- (d) Wタームに授業が開始する他学部科目については、「経済学部 A 2 の履修登録期間又は履修登録修正期間」内に履修登録を行ってください。
- (e) スポーツトレーニング実習については、UTAS による履修登録だけではなく、ガイダンス出席（教養学部指定日：詳細は別途掲示）が併せて必要になる等、履修登録に係る取り扱いが異なる科目もあるので注意してください。

3) 各科目のシラバス及び時間割等の情報について

- (a) 各科目のシラバス及び時間割等の情報については、UTAS 等により、確認してください。
- (b) なお、時間割については、変更となる場合がありますので、UTAS 等により、随時確認するようにしてください。
- (c) 経済学部科目の時間割コードは、後掲の「開講予定科目・授業担当者表」を参照してください。
- (d) 教務チーム学部担当窓口にて、他学部便覧を閲覧することもできます。

3. 履修に際しての注意

1) 駒場キャンパス開講科目について

各科目の授業実施形態は、上記 1. 2) のように分類されることになります。

原則として、駒場キャンパスで対面（一部又は全部）により授業及び試験を行う科目と本郷キャンパスで対面（一部又は全部）により授業及び試験を行う科目については、双方に 30 分以上の空き時間がない限り、連続する時限の両方の科目を履修することはできません。（2 限と 3 限については、30 分以上の空き時間があるため、履修は可となります。）教養学部以外の学部が駒場キャンパスで開講する科目、又は、駒場キャンパスに相当する移動時間を要する他のキャンパスで開講する科目も同様の取扱いとなります。

2 限と 3 限の場合を除き、30 分以上の空き時間がない連続する時限の科目の履修登録を行った場合、両方の科目の履修登録を削除します。

上記を確認の上、履修登録を行ってください。履修登録後に判明した場合は、速やかに教務チーム学部担当に申し出てください。

一なお、駒場キャンパスと本郷キャンパスにおいて開講する 30 分以上の空き時間がない連続する時限のそれぞれの科目について、どちらか一方がオンライン（全部）により授業及び試験を行う科目の場合には、両方の科目の履修登録は可となります。

2) 集中講義科目について

経済学部科目または他学部科目を問わず、同一の時間帯（曜日・時限）に履修できるのは1科目のみになります。

集中講義科目の授業日程について、履修登録している他の科目の時間帯（曜日・時限）と一部でも重複する場合、時間帯（曜日・時限）の重複の扱いとなるため、集中講義科目の履修登録を削除します。

上記を確認の上、履修登録を行ってください。履修登録後に判明した場合は、速やかに教務チーム学部担当に申し出てください。

3) 既習科目等について

単位を取得済みの既習科目については、再度履修することはできませんので、成績表等で確認の上、間違えのないようにしてください。

単位を取得できなかった「不可」または「未受験」の科目は、再度履修することができます。

単位を取得済みの既習科目を履修登録した場合、当該既習科目の履修登録を削除します。また、万一、単位を取得済みの既習科目があることが判明した場合は、当該既習科目の成績を削除します。

<経済学部科目における既習科目の再度履修不可の取り扱い>

・原則として、時間割コード及び科目名が同一の科目については、再度履修不可となります。（演習・少人数講義、プロアクティブ・ラーニング・セミナーを除く。）

・次の科目については、両方の科目の履修は不可となります。（どちらか一方の（組み合わせの）科目のみ、単位の取得が可能です。）

0704532：産業事情「ITと産業界」	0704120：ITと産業界
0704121：文科系のための解析・線形代数	0704122：文科系のための線形代数・解析Ⅰ
	0704123：文科系のための線形代数・解析Ⅱ
0704174：Big Tech and Competition Law: How Has Competition Law Dealt with GAFA?	0704174：Big Tech and Competition Law
0704175：Introduction to Matching Theory and Market Design	0704175：マーケットデザイン
0704241-01：再生可能エネルギーと公共政策	0704241：再生可能エネルギーと公共政策
0704242：金融市場と公共政策	0704242：金融制度の企画と運用
0704244：日本の財政金融政策	0704244：政策担当者が語る日本の財政金融論
0704263：Empirical Market Design	0704265：Topics in Empirical Microeconomics

<経済学部科目における進学年度により異なる履修可能な科目の取り扱い>

・次の科目については、進学年度により履修可能な科目が異なっているので、十分注意すること。

	2019 年度以前 進学者	2020 年度 進学者	2021 年度以降 進学者
0702208-01 : 国際経済 I (専門科目 2) 0702211 : 国際貿易 (専門科目 2・3・4)	0702211 : 国際貿易 (専門科目 2・3・4)	0702208-01 : 国際経済 I (専門科目 2)	0702208-01 : 国際経済 I (専門科目 2)
0701101-01 : 経済原論 I (専門科目 1) 0704131 : 経済原論 I (選択科目)	0701101-01 : 経済原論 I (専門科目 1)	0701101-01 : 経済原論 I (専門科目 1)	0704131 : 経済原論 I (選択科目)
0701101-02 : 経済原論 II (専門科目 1) 0704132 : 経済原論 II (選択科目)	0701101-02 : 経済原論 II (専門科目 1)	0701101-02 : 経済原論 II (専門科目 1)	0704132 : 経済原論 II (選択科目)

<経済学部科目と法学部科目の合併科目>

・次の科目については、経済学部科目のみ履修可能です。(経済学部科目のみ単位取得可能です。)

経済学部科目	法学部科目
0701104-01 : 統計 I	統計学 I
0701104-02 : 統計 II	統計学 II
0702203-01 : 金融 I	金融論 I
0702206-01 : 労働経済 I	労働経済 I
0702208-01 : 国際経済 I (2020 年度以降進学者) 0702211 : 国際貿易 (2019 年度以前進学者)	国際経済論 I
0704311-01 : 国際経営 I	国際経営 I
0705031 : 国際経営 II	国際経営 II
0704174 : Big Tech and Competition Law	経済法演習 (外国語科目) ※VANDE WALLE 教授担当の左記と同様の学期・曜限の科目
0704234 : 金融 II	金融論 II
0704236 : 労働経済 II	労働経済 II
0704238 : 国際経済 II	国際経済論 II
0704243 : Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	国際政治演習 ※JIN Bei 講師担当の左記と同様の学期・曜限の科目
0705704 : 民法 (2)	民法第 2 部
0705705 : 行政法	行政法第 1 部

0705706：労働法	労働法
0705707：商法（１）	商法第３部
0705708：商法（２）	商法第１部
0705709：商法（３）	商法第２部
0705710：経済法	経済法
0705712：日本政治史	日本政治外交史
0705713：日本政治	日本政治

<経済学部科目と法学部科目の類似科目>

・次の科目については、両方の科目の履修は不可となります。（どちらか一方の（組み合わせの）科目のみ、単位の取得が可能です。）

経済学部科目	法学部科目
0701303-01：会計	会計学
0702202-01：財政Ⅰ	財政学
0704233：財政Ⅱ	
0705703：民法（１）	民法第１部

４）履修計画について

連続する２つ以上のタームで開講する科目については、最初のタームの履修登録期間又は履修登録修正期間に履修登録を行ってください。それ以外のタームの履修登録期間又は履修登録修正期間での追加・削除等の変更は認められません。

- －セメスター（Ｓ１・Ｓ２）開講の科目は、Ｓ１の履修登録期間内に履修登録を行ってください。
- －セメスター（Ａ１・Ａ２）開講の科目は、Ａ１の履修登録期間内に履修登録を行ってください。
- －通年（Ｓ１・Ｓ２・Ａ１・Ａ２）開講の科目は、Ｓ１の履修登録期間内に履修登録を行ってください。

開講される時間帯（曜日・時限）が学期によって異なる科目もあります。また、科目によって週に開講する回数が異なりますので、複数回授業がある科目については、その全てにおいて他の科目と時間帯（曜日・時限）が重複していないかよく確認してから履修登録を行ってください。

必ず、年間を通じた履修計画をたてた上で履修登録を行うようにしてください。（特に、選択必修科目である専門科目１、２、３、４については、卒業に必要な単位が足りなくなならないよう、十分注意してください。）

5) 成績評価に係る疑義がある場合について

- ① 成績評価に疑義があり、明らかにそれが授業担当教員の誤りであると思われる場合のみ、成績発表日から1週間以内に所定の様式により教務チーム学部担当へ申し出ることができます。

なお、3月または9月の卒業見込の4年生について、成績評価に疑義がある場合には、成績発表日から2日以内に教務チーム学部担当に申し出てください。

- ② 教務チーム学部担当は、授業担当教員へ確認の上、カリキュラム委員会へ確認を行い、当該学生へ結果を通知します。

4. 演習・少人数講義

年度当初の4月上旬に参加者募集があり、参加申込を行う必要があります。参加許可を受けた演習・少人数講義については、教務チーム学部担当にて履修登録を行いますので、当該演習・少人数講義の開講する時間帯（曜日・時限）に他の科目の履修登録を行わないようにしてください。当該演習・少人数講義の開講する時間帯（曜日・時限）に他の科目の履修登録を行った場合、当該他の科目の履修登録を削除します。

なお、演習・少人数講義は、次の時限も引き続き行われる場合がありますので、当該演習・少人数講義の開講する次の時限は空けておくようにしてください。

その他、演習・少人数講義の参加申込の詳細については、後掲の「演習・少人数講義参加者募集要項」を参照してください。

<演習の単位分割申請について>

交流協定に基づく留学又は海外修学を理由とした休学（学生の休学の基準第1条第1項に定める「海外の教育・研究施設において修学するため休学を必要とする者」）のため、演習への通年（S1・S2・A1・A2）の参加ができない場合に限り、単位分割申請を行うことができます。

単位分割により付与される単位数は、「1単位×演習参加ターム数」となり、2単位（2ターム分）または3単位（3ターム分）の申請を行うことができます。

（1単位（1ターム分）の申請を行うことはできません。）ただし、経済学部 of 授業期間と留学期間（受入許可書に記載された受入期間）が一部でも重複するタームについては、単位分割は認められません。また、交流協定に基づく留学又は海外修学を理由とした休学に加え、大学を通じて申請するサマープログラム、ウィンタープログラム等に参加する場合は、当該年度の演習の全ての単位が認められない場合がありますので、事前に教務チーム学部担当に確認してください。

単位分割申請を行う際には、当該演習の担当教員の了解を得た上で、演習単位分割申請書（所定用紙）を教務チーム学部担当に提出してください。提出時期等詳細については、渡航前及び帰国後速やかに、教務チーム学部担当に確認してください。

5. プロアクティブ・ラーニング・セミナー

プロアクティブ・ラーニング・セミナーは、平成 27 年度より新設された学生の自主的な学習を促すため、教員の監督及びセミナー・リーダーの監督補助のもとで論文の検討会、企業の研究会、ディベートなどを行い、レポート等を提出することによって単位を認定される制度です。

プロアクティブ・ラーニング・セミナーの申請方法及び時期等の詳細については、掲示により事前周知を行います。なお、S 1・S 2で行うセミナーは 4 月下旬、A 1・A 2 タームで行うセミナーは 10 月上旬が申請期限となります。

実施を許可されたプロアクティブ・ラーニング・セミナーの参加登録学生の履修登録は、セミナー・リーダー等の代表者が監督教員に提出する「計画書」に基づき、教務チーム学部担当にて行います。当該「計画書」に登録のない学生の履修登録は認められません。

取得した単位については、「対面授業」の単位として取り扱うことになります。

6. 卒業論文

卒業論文の提出方法及び時期等の詳細については、掲示により事前周知を行います。卒業論文を提出（1 月上旬提出期限）する予定の 4 年生は、5 月上旬（05/01 提出期限）までに卒業論文届を教務チーム学部担当に提出してください。卒業論文届の提出のあった学生の卒業論文については、教務チーム学部担当にて履修登録を行います。

一年度当初の 5 月上旬（05/01 提出期限）までに卒業論文届を提出していない学生は、卒業論文を提出（1 月上旬提出期限）することはできません。

一論文題目は、年度当初の 5 月上旬（05/01 提出期限）までの卒業論文届の提出時において未定であっても構いません。また、卒業論文の提出（1 月上旬提出期限）時において変更することも可能です。

取得した単位については、「対面授業」の単位として取り扱うことになります。

<交流協定により海外留学をする学生の卒業論文届等の提出時期について>

3 年生のうちに交流協定により海外留学し、卒業を 4 年生の 3 月とする（もし

くは半年延長する)ことを計画し、4年生の卒業論文届の提出期間(次年度当初)には海外留学先に在住している見通しのため、卒業論文届を提出することができない3年生が、4年生の1月上旬(もしくは卒業延長後の6月)に卒業論文の提出を希望する場合、論文指導教員の了解を得た上で、渡航前の3年生の卒業論文届の提出期間(本年度当初(05/01提出期限))に卒業論文届を提出する必要があります。(渡航後の提出は認められません。)

4年生のうちに交流協定により海外留学し、卒業を1年(もしくは半年)延長することを計画し、次年度の卒業論文届の提出期間(次年度当初)には海外留学先に在住している見通しのため、卒業論文届を提出することができない4年生が、次年度の1月上旬(もしくは6月)に卒業論文の提出を希望する場合、論文指導教員の了解を得た上で、渡航前の4年生の卒業論文届の提出期間(本年度当初(05/01提出期限))に卒業論文届を提出する必要があります。(渡航後の提出は認められません。)

卒業論文を作成することを参加要件としている演習・少人数講義に参加し、かつ、上記により卒業論文の提出を希望する場合、本年度当初(05/01提出期限)に卒業論文届を提出する必要がありますので、十分注意してください。

開講予定科目・授業担当者表

※ 各科目区分（専門科目 1、2、3、4 及び
選択科目）に該当する科目は、進学年度によ
り異なる。

令和 6（2024）年度開講予定科目・授業担当者表

【令和元（2019）年度以前の経済学部進学者用】

区分	時間割コード	授業科目名	単位数	学期	担当者	備考
専門科目 1（学科共通選択必修）						
	0701101-01	経済原論Ⅰ	2	A1	江原 慶	
	0701101-02	経済原論Ⅱ	2	A2	江原 慶	
	0701102-01	ミクロ経済学Ⅰ	2	A1	神取 道宏	駒場開講
	0701102-02	ミクロ経済学Ⅱ	2	A2	神取 道宏	駒場開講
	0701103-01	マクロ経済学Ⅰ	2	A1	中嶋 智之	駒場開講
	0701103-02	マクロ経済学Ⅱ	2	A2	中嶋 智之	駒場開講
	0701104-01	統計Ⅰ	2	A1	入江 薫	駒場開講／合併（法学）
	0701104-02	統計Ⅱ	2	A2	入江 薫	駒場開講／合併（法学）
	0701301-01	経営	2	A1	清水 剛	駒場開講
	0701302-01	ファイナンス	2	A2	佐藤 整尚	駒場開講
	0701302-02	ゲーム理論	2	S1	高橋 悟	
	0701303-01	会計	2	A1	大日方 隆	駒場開講
	0701401-01	経済史Ⅰ	2	A2	谷本・石原	駒場開講
	0701401-02	経済史Ⅱ	2	S1	佐々木 優	
専門科目 2（経済学科選択必修）						
	0702101-01	経済学史Ⅰ	2	A1	上野 大樹	
	0702102-01	共1 計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	
	0702104-01	現代資本主義論Ⅰ	2	A1	柴崎 慎也	
	0702105-01	共2 数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也	
	0702110	共2 * メカニズム・デザイン	2	A1	松島 斉	
	0702201-01	日本経済Ⅰ	2	S1	星 岳雄	
	0702202-01	共2 * 財政Ⅰ	2	S2	林 正義	
	0702203-01	共2 金融Ⅰ	2	S1	福田・随	合併（法学）
	0702204-01	共1 産業組織Ⅰ	2	S1	佐々木 弾	
	0702206-01	* 労働経済Ⅰ	2	A1	山口 慎太郎	合併（法学）
	0702207-01	都市経済Ⅰ	2	A1	佐藤 泰裕	
	0702208-01	国際経済Ⅰ	2		不開講	合併（法学）
	0702209-01	開発経済Ⅰ	2	S1	澤田 康幸	
	0702211	共1 国際貿易	2	S1	古澤 泰治	合併（法学）
	0702212	共1 国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
	0702401-01	現代日本経済史Ⅰ	2	A1	小島 庸平	
	0702402-01	現代西洋経済史Ⅰ	2	A1	石原 俊時	
	0702403-01	近代日本経済史Ⅰ	2	S1	谷本 雅之	
	0702404	アジア経済史	2	A2	城山 智子	
	0704015	共1 * 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
専門科目 3（経営学科選択必修）						
	0702102-01	共1 計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	

0702204-01	共1	産業組織 I	2	S1	佐々木 弾	合併（法学）
0702211	共1	国際貿易	2	S1	古澤 泰治	
0702212	共1	国際金融	2	A1A2	青木 浩介	合併（法学）
0703302-01	共3	経営戦略 I	2	A2	福澤 光啓	
0703305-01	共3	経営史 I	2	S1	山本 浩司	合併（法学）
0703306-01	共3	日本経営史 I	2	A1	粕谷 誠	
0703307-01	共3	マーケティング I	2	S1	阿部 誠	合併（法学）
0703308-01		経営科学 I	2	A1	北上 靖大	
0703309-01	共3	財務会計 I	2	S1	米山 正樹	合併（法学）
0703310-01	共3	管理会計 I	2	S1	諸藤 裕美	
0703314-01		技術経営 I	2	A1	桑嶋 健一	合併（法学）
0703316		ICTマネジメント I	2	S1	高井 文子	
0703317		フード・システム I	2	S1	元木 康介	合併（法学）
0703318		グローバル・ベンチャリング I	2	A1	中野 剛治	
0703319	共3	生産システム I	2	S2	徐 寧教	合併（法学）
0703320	共3	雇用システム I	2	A2	禹 宗杭	
0703321	共3	経営管理 I	2	S2	舟津 昌平	合併（法学）
0704015	共1	* 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
0704311-01		国際経営 I	2	S1	大木 清弘	合併（法学）
0704706	共3	経営財務 I	2	A1A2	山本 功	
専門科目 4（金融学科選択必修）						
0702102-01	共1	計量経済学 I	2	A1	奥井 亮	合併（法学）
0702105-01	共2	数理統計 I	2	S1	久保川 達也	
0702110	共2	* メカニズム・デザイン	2	A1	松島 斉	合併（法学）
0702202-01	共2	* 財政 I	2	S2	林 正義	
0702203-01	共2	金融 I	2	S1	福田・随	合併（法学）
0702204-01	共1	産業組織 I	2	S1	佐々木 弾	
0702211	共1	国際貿易	2	S1	古澤 泰治	合併（法学）
0702212	共1	国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
0703302-01	共3	経営戦略 I	2	A2	福澤 光啓	合併（法学）
0703305-01	共3	経営史 I	2	S1	山本 浩司	
0703306-01	共3	日本経営史 I	2	A1	粕谷 誠	合併（法学）
0703307-01	共3	マーケティング I	2	S1	阿部 誠	
0703309-01	共3	財務会計 I	2	S1	米山 正樹	合併（法学）
0703310-01	共3	管理会計 I	2	S1	諸藤 裕美	
0703319	共3	生産システム I	2	S2	徐 寧教	合併（法学）
0703320	共3	雇用システム I	2	A2	禹 宗杭	
0703321	共3	経営管理 I	2	S2	舟津 昌平	合併（法学）
0704015	共1	* 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
0704703-01		* 保険数理 I	2	S1S2	森本 祐司	合併（法学）
0704706	共3	経営財務 I	2	A1A2	山本 功	
0704753		* 金融機関のリスク管理	2	S1S2	池森 俊文	

	0704806-01	プログラミング	2	S1S2	白谷 健一郎	
	0705503	* デリバティブ	2	S1S2	藤井 優成	
選択科目						
	0704012-01	* 上級ミクロ経済学Ⅰ	2	S1S2	松井 彰彦	
	0704012-02	* 上級ミクロ経済学Ⅱ	2	A1A2	小島 武仁	
	0704013-01	* 上級マクロ経済学Ⅰ	2	S1S2	青木・新谷	
	0704013-02	* 上級マクロ経済学Ⅱ	2	A1A2	北尾 早霧	
	0704019	* 経済学方法論	2	A1A2	小沢 佳史	
	0704020	* 上級経済原論	2	A1	結城 剛志	
	0704034	* 経営戦略特論	2	S1S2	稲水・大木	
	0704041	* 上級日本経済史Ⅰ	2	S1S2	中林 真幸	
	0704042	* 上級西洋経済史Ⅰ	2	S1S2	石原 俊時	
	0704050	* 政治経済学	2	A1A2	原谷 直樹	
	0704056-01	* 上級計量経済学Ⅰ	2	S1	下津 克己	
	0704056-02	* 上級計量経済学Ⅱ	2	S2	奥井 亮	
	0704068	* 上級開発経済	2	S2	澤田 康幸	合併（公共・総文）
	0704071	* 経営管理Ⅱ	2	A2	舟津 昌平	
	0704072	* フード・システムⅡ	2	S2	元木 康介	
	0704076	* 経営史Ⅱ	2	S2	山本 浩司	
	0704077	* 日本経営史Ⅱ	2	A2	粕谷 誠	
	0704078	* マーケティングⅡ	2	S2	阿部 誠	
	0704081	* 上級日本経済史Ⅱ	2	A1A2	中林 真幸	
	0704082	* 上級アジア経済史	2	S1S2	城山 智子	
	0704115	経済学史Ⅱ	2	A2	上野 大樹	
	0704116	計量経済学Ⅱ	2	A2	奥井 亮	
	0704117	現代資本主義論Ⅱ	2	A2	柴崎 慎也	
	0704118	数理統計Ⅱ	2	S2	久保川 達也	
	0704122	文科系のための線形代数・解析Ⅰ	2	S1	藤堂・松尾・島田	
	0704123	文科系のための線形代数・解析Ⅱ	2	S2	藤堂・松尾・島田	
	0704133	* 上級経済学史	2	S1S2	板井 広明	
	0704134	* 社会・経済思想	2	A1A2	板井 広明	
	0704135	* Text Analysis for Economics and Area Studies	2	A1A2	伊藤 亜聖	合併（総文）
	0704152	経済統計	2	S1S2	肥後 雅博	
	0704153	人口統計	2	S1S2	金子 隆一	
	0704154	* 応用経済統計	2	A1A2	肥後 雅博	
	0704162-01	* 上級数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也	
	0704162-02	* 上級数理統計Ⅱ	2	S2	久保川 達也	
	0704163	* Topics in Economic Theory	2	A1	尾山 大輔	
	0704169	* Advanced Time Series Analysis（上級時系列分析）	2	A1A2	新谷 元嗣	合併（公共）
	0704170	* Empirical analysis of dynamic macroeconomic models	2	S1S2	新谷 元嗣	合併（公共）
	0704174	* Big Tech and Competition Law	2	A1A2	VANDE WALLE, Simon A.W.	合併（法学系・法学・公共）
	0704175	マーケットデザイン	2	S1S2	野田 俊也	

0704177	* マクロ経済動学	2	S1S2	楡井 誠	
0704180	経済学とコンピューターサイエンスⅠ	2	S1S2	坂口 翔政	
0704181	経済学とコンピューターサイエンスⅡ	2	A1A2	坂口 翔政	
0704182	* グリーンエネルギー論	2	S1S2	杉山 正和	合併（公共）
0704185	* Discrete Choice Models	2	A1	SON Suk Joon	合併（公共）
0704189	社会的共通資本の経済学	2	A2	松島 齊	
0704190	* 政策・ビジネスのためのデータ分析	2	S1S2	植田 健一	合併（公共）
0704202	政府間財政	2	A2	後藤 剛志	
0704222	エネルギー政策	2	S1S2	有馬・小山	合併（ <u>公共</u> ）
0704223	環境政策	2	A1A2	有馬 純	合併（ <u>公共</u> ）
0704232	日本経済Ⅱ	2	A1	星 岳雄	合併（公共・総文）
0704233	* 財政Ⅱ	2	A1	林 正義	
0704234	金融Ⅱ	2	S2	福田・田中	合併（法学）
0704235	産業組織Ⅱ	2	A1	川合 慶	
0704236	* 労働経済Ⅱ	2	A2	山口 慎太郎	合併（法学）
0704237	都市経済Ⅱ	2	A2	佐藤 泰裕	
0704238	国際経済Ⅱ	2	S2	西岡 修一郎	合併（法学）
0704242	金融制度の企画と運用	2	S1S2	守屋 貴之	合併（ <u>公共</u> ）
0704243	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	2	S1S2	JIN Bei	合併（ <u>公共</u> ・法学）
0704244	政策担当者が語る日本の財政金融論	2	S1S2	服部・仲	合併（ <u>公共</u> ）
0704247	* インフレーションと金融政策	2	A1A2	渡辺 努	合併（ <u>公共</u> ）
0704248	日本の未来と個人の役割	2	S1S2(集中)	宗像・西田・島田	合併（ <u>公共</u> ・工学系・法学）
0704252	* 上級世界経済Ⅰ	2	S1S2	丸川・小野塚・板井	
0704253	* 上級世界経済Ⅱ	2	A1A2	丸川・伊藤・大泉	
0704254	* Data Science for Practical Economic Research	2	S2	Kucheryavyy Konstantin	合併（公共）
0704256	* 上級労働経済学	2	S1S2	川田 恵介	合併（公共）
0704258	* Political Economics	2	A1A2	WEESE・渡辺	合併（公共）
0704261	* 上級労働経済学Ⅱ	2	A1A2	川口 大司	合併（公共）
0704262	* Topics in Political Economics	2	A1A2	渡辺・WEESE	合併（公共）
0704264	* Essential Academic Skills	2	A1A2	LOU Yichuan	合併（公共）
0704265	* Topics in Empirical Microeconomics	2	A1A2	SON Suk Joon	合併（公共）
0704266	* Economic Analysis of Pandemics	2	S1S2	岩本・仲田	合併（公共）
0704269	* Probability Theory and Applications to Economic Theory	2	S1S2	高橋 悟	
0704316	流通経営	2	A1A2	藤岡 里圭	
0704352	* グローバル・ベンチャリングⅡ	2	S2	中野 剛治	
0704353	* ICTマネジメントⅡ	2	A1	生稻 史彦	
0704354	* 経営学特論（経営学研究法）	2	A1A2	各教員（経営学コース）	
0704420	現代日本経済史Ⅱ	2	A2	小島 庸平	
0704422	近代日本経済史Ⅱ	2	S2	谷本 雅之	
0704455	* Historical Political Economy	2	A1A2	佐々木 優	
0704501	経済データ分析	2	S1S2	大森 裕浩	
0704536	産業事情「エネルギー市場/コモディティ市場」	2	S1S2	石崎・山岡	

0704537	産業事情「コンサルティング産業の地殻変動」	2	A1A2	則武 譲二	
0705021	* ビジネスエコノミクス	2	A2	柳川 範之	
0705022-01	* Financial System I (金融システム論 I)	2	S1	星 岳雄	合併 (公共)
0705023	* 金融政策	2	S1	青木 浩介	合併 (公共)
0705031	* 国際経営 II	2	S2	大木 清弘	合併 (法学)
0705032	* 技術経営 II	2	A2	桑嶋 健一	
0705562	* 保険数理 II	2	S1S2	岩沢 宏和	
0705563	* 保険数理 III	2	A1A2	松平 直之	
0705564	* 実証ファイナンス	2	A2	津田 博史	
0705565	* 上級デリバティブ演習 I	2	S1S2	藤井 優成	
0705566	* 数量ファイナンス特論 II (c++プログラミングによるデリバティブ・プライシング)	2	A1A2	高田 勝己	
0705567	* 数量ファイナンス II	2	A1A2	中里 宗敬	
0705568	* 財務会計 II	2	S2	米山 正樹	
0705570	* 数量ファイナンス I	2	S1S2	尾張 圭太	
0705571	* 上級デリバティブ	2	S1S2	中里 大輔	
0705573	* インベストメント	2	S1S2	山内 英貴	
0705574	* コーポレート・ガバナンス	2	A1A2	江川 雅子	
0705576	* 数量ファイナンス特論 I (証券投資：理論と実践)	2	A1A2	小松 高広	
0705577	* アクチュアリーワークショップ I	2	S1S2	岩沢 宏和	
0705578	* アクチュアリーワークショップ II	2	A1A2	岩沢 宏和	
0705579	* ファイナンスのための確率 I	2	S1S2	尾張 圭太	
0705701	* 数学 I	2	S1S2	入江 薫	
0705702	* 数学 II	2	S1	尾山 大輔	
0705703	民法 (1)	2	S1S2	山下 純司	
0705704	民法 (2)	4	S1S2	水津 太郎	合併 (法学)
0705705	行政法	4	S1S2	齋藤 誠	合併 (法学)
0705706	労働法	4	A1A2	荒木 尚志	合併 (法学)
0705707	商法 (1)	4	S1S2	加藤 貴仁	合併 (法学)
0705708	商法 (2)	4	S1S2	後藤 元	合併 (法学)
0705709	商法 (3)	4	A1A2	松井 智予	合併 (法学)
0705710	経済法	4	A1A2	VANDE WALLE, Simon A.W.	合併 (法学・公共・法学系)
0705712	日本政治史	4	A1A2	五百旗頭 薫	合併 (法学)
0705713	日本政治	4	S1S2	境家 史郎	合併 (法学)

【備考 (上記表中)】

1. 「共 1」は専門科目 2・専門科目 3・専門科目 4、「共 2」は専門科目 2・専門科目 4、「共 3」は専門科目 3・専門科目 4、との共通科目を表す。
2. 「*」は、学部学生の履修を認める大学院科目を表す。
3. 「駒場開講」は、持出専門科目となっている科目を表し、教養学部前期課程の授業日程により開講する。
4. 「合併」は、法学は法学部、公共は公共政策大学院、法学系は法学政治学研究科、総文は総合文化研究科、工学系は工学系研究科との合併科目を表す。そのうち、二重下線のある科目は、当該部局の授業日程により開講する。

令和 6（2024）年度開講予定科目・授業担当者表

【令和 2（2020）年度の経済学部進学者用】

区分	時間割コード	授業科目名	単位数	学期	担当者	備考
専門科目 1（学科共通選択必修）						
	0701101-01	経済原論Ⅰ	2	A1	江原 慶	
	0701101-02	経済原論Ⅱ	2	A2	江原 慶	
	0701102-01	ミクロ経済学Ⅰ	2	A1	神取 道宏	駒場開講
	0701102-02	ミクロ経済学Ⅱ	2	A2	神取 道宏	駒場開講
	0701103-01	マクロ経済学Ⅰ	2	A1	中嶋 智之	駒場開講
	0701103-02	マクロ経済学Ⅱ	2	A2	中嶋 智之	駒場開講
	0701104-01	統計Ⅰ	2	A1	入江 薫	駒場開講／合併（法学）
	0701104-02	統計Ⅱ	2	A2	入江 薫	駒場開講／合併（法学）
	0701301-01	経営	2	A1	清水 剛	駒場開講
	0701302-01	ファイナンス	2	A2	佐藤 整尚	駒場開講
	0701302-02	ゲーム理論	2	S1	高橋 悟	
	0701303-01	会計	2	A1	大日方 隆	駒場開講
	0701401-01	経済史Ⅰ	2	A2	谷本・石原	駒場開講
	0701401-02	経済史Ⅱ	2	S1	佐々木 優	
専門科目 2（経済学科選択必修）						
	0702101-01	経済学史Ⅰ	2	A1	上野 大樹	
	0702102-01	共1 計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	
	0702104-01	現代資本主義論Ⅰ	2	A1	柴崎 慎也	
	0702105-01	共2 数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也	
	0702110	共2 * メカニズム・デザイン	2	A1	松島 斉	
	0702201-01	日本経済Ⅰ	2	S1	星 岳雄	
	0702202-01	共2 * 財政Ⅰ	2	S2	林 正義	
	0702203-01	共2 金融Ⅰ	2	S1	福田・随	合併（法学）
	0702204-01	共1 産業組織Ⅰ	2	S1	佐々木 弾	
	0702206-01	* 労働経済Ⅰ	2	A1	山口 慎太郎	合併（法学）
	0702207-01	都市経済Ⅰ	2	A1	佐藤 泰裕	
	0702208-01	国際経済Ⅰ	2	S1	古澤 泰治	合併（法学）
	0702209-01	開発経済Ⅰ	2	S1	澤田 康幸	
	0702212	共1 国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
	0702401-01	現代日本経済史Ⅰ	2	A1	小島 庸平	
	0702402-01	現代西洋経済史Ⅰ	2	A1	石原 俊時	
	0702403-01	近代日本経済史Ⅰ	2	S1	谷本 雅之	
	0702404	アジア経済史	2	A2	城山 智子	
	0704015	共1 * 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
専門科目 3（経営学科選択必修）						
	0702102-01	共1 計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	
	0702204-01	共1 産業組織Ⅰ	2	S1	佐々木 弾	

0702212	共1	国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
0703302-01	共3	経営戦略Ⅰ	2	A2	福澤 光啓	
0703305-01	共3	経営史Ⅰ	2	S1	山本 浩司	
0703306-01	共3	日本経営史Ⅰ	2	A1	粕谷 誠	
0703307-01	共3	マーケティングⅠ	2	S1	阿部 誠	
0703308-01		経営科学Ⅰ	2	A1	北上 靖大	
0703309-01	共3	財務会計Ⅰ	2	S1	米山 正樹	
0703310-01	共3	管理会計Ⅰ	2	S1	諸藤 裕美	
0703314-01		技術経営Ⅰ	2	A1	桑嶋 健一	
0703316		ICTマネジメントⅠ	2	S1	高井 文子	
0703317		フード・システムⅠ	2	S1	元木 康介	
0703318		グローバル・ベンチャリングⅠ	2	A1	中野 剛治	
0703319	共3	生産システムⅠ	2	S2	徐 寧教	
0703320	共3	雇用システムⅠ	2	A2	禹 宗杭	
0703321	共3	経営管理Ⅰ	2	S2	舟津 昌平	
0704015	共1	* 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
0704311-01		国際経営Ⅰ	2	S1	大木 清弘	合併（法学）
0704706	共3	経営財務Ⅰ	2	A1A2	山本 功	
専門科目4（金融学科選択必修）						
0702102-01	共1	計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	
0702105-01	共2	数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也	
0702110	共2	* メカニズム・デザイン	2	A1	松島 斉	
0702202-01	共2	* 財政Ⅰ	2	S2	林 正義	
0702203-01	共2	金融Ⅰ	2	S1	福田・随	合併（法学）
0702204-01	共1	産業組織Ⅰ	2	S1	佐々木 弾	
0702212	共1	国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
0703302-01	共3	経営戦略Ⅰ	2	A2	福澤 光啓	
0703305-01	共3	経営史Ⅰ	2	S1	山本 浩司	
0703306-01	共3	日本経営史Ⅰ	2	A1	粕谷 誠	
0703307-01	共3	マーケティングⅠ	2	S1	阿部 誠	
0703309-01	共3	財務会計Ⅰ	2	S1	米山 正樹	
0703310-01	共3	管理会計Ⅰ	2	S1	諸藤 裕美	
0703319	共3	生産システムⅠ	2	S2	徐 寧教	
0703320	共3	雇用システムⅠ	2	A2	禹 宗杭	
0703321	共3	経営管理Ⅰ	2	S2	舟津 昌平	
0704015	共1	* 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
0704703-01		* 保険数理Ⅰ	2	S1S2	森本 祐司	
0704706	共3	経営財務Ⅰ	2	A1A2	山本 功	
0704753		* 金融機関のリスク管理	2	S1S2	池森 俊文	
0704806-01		プログラミング	2	S1S2	白谷 健一郎	
0705503		* デリバティブ	2	S1S2	藤井 優成	

選択科目						
0704012-01	* 上級ミクロ経済学Ⅰ	2	S1S2	松井 彰彦		
0704012-02	* 上級ミクロ経済学Ⅱ	2	A1A2	小島 武仁		
0704013-01	* 上級マクロ経済学Ⅰ	2	S1S2	青木・新谷		
0704013-02	* 上級マクロ経済学Ⅱ	2	A1A2	北尾 早霧		
0704019	* 経済学方法論	2	A1A2	小沢 佳史		
0704020	* 上級経済原論	2	A1	結城 剛志		
0704034	* 経営戦略特論	2	S1S2	稲水・大木		
0704041	* 上級日本経済史Ⅰ	2	S1S2	中林 真幸		
0704042	* 上級西洋経済史Ⅰ	2	S1S2	石原 俊時		
0704050	* 政治経済学	2	A1A2	原谷 直樹		
0704056-01	* 上級計量経済学Ⅰ	2	S1	下津 克己		
0704056-02	* 上級計量経済学Ⅱ	2	S2	奥井 亮		
0704068	* 上級開発経済	2	S2	澤田 康幸	合併（公共・総文）	
0704071	* 経営管理Ⅱ	2	A2	舟津 昌平		
0704072	* フード・システムⅡ	2	S2	元木 康介		
0704076	* 経営史Ⅱ	2	S2	山本 浩司		
0704077	* 日本経営史Ⅱ	2	A2	粕谷 誠		
0704078	* マーケティングⅡ	2	S2	阿部 誠		
0704081	* 上級日本経済史Ⅱ	2	A1A2	中林 真幸		
0704082	* 上級アジア経済史	2	S1S2	城山 智子		
0704115	経済学史Ⅱ	2	A2	上野 大樹		
0704116	計量経済学Ⅱ	2	A2	奥井 亮		
0704117	現代資本主義論Ⅱ	2	A2	柴崎 慎也		
0704118	数理統計Ⅱ	2	S2	久保川 達也		
0704122	文科系のための線形代数・解析Ⅰ	2	S1	藤堂・松尾・島田		
0704123	文科系のための線形代数・解析Ⅱ	2	S2	藤堂・松尾・島田		
0704133	* 上級経済学史	2	S1S2	板井 広明		
0704134	* 社会・経済思想	2	A1A2	板井 広明		
0704135	* Text Analysis for Economics and Area Studies	2	A1A2	伊藤 亜聖	合併（総文）	
0704152	経済統計	2	S1S2	肥後 雅博		
0704153	人口統計	2	S1S2	金子 隆一		
0704154	* 応用経済統計	2	A1A2	肥後 雅博		
0704162-01	* 上級数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也		
0704162-02	* 上級数理統計Ⅱ	2	S2	久保川 達也		
0704163	* Topics in Economic Theory	2	A1	尾山 大輔		
0704169	* Advanced Time Series Analysis（上級時系列分析）	2	A1A2	新谷 元嗣	合併（公共）	
0704170	* Empirical analysis of dynamic macroeconomic models	2	S1S2	新谷 元嗣	合併（公共）	
0704174	* Big Tech and Competition Law	2	A1A2	VANDE WALLE, Simon A.W.	合併（法学系・法学・公共）	
0704175	マーケットデザイン	2	S1S2	野田 俊也		
0704177	* マクロ経済動学	2	S1S2	楡井 誠		
0704180	経済学とコンピューターサイエンスⅠ	2	S1S2	坂口 翔政		

0704181	経済学とコンピューターサイエンスⅡ	2	A1A2	坂口 翔政	
0704182	* グリーンエネルギー論	2	S1S2	杉山 正和	合併（公共）
0704185	* Discrete Choice Models	2	A1	SON Suk Joon	合併（公共）
0704189	社会的共通資本の経済学	2	A2	松島 齊	
0704190	* 政策・ビジネスのためのデータ分析	2	S1S2	植田 健一	合併（公共）
0704202	政府間財政	2	A2	後藤 剛志	
0704222	エネルギー政策	2	S1S2	有馬・小山	合併（公共）
0704223	環境政策	2	A1A2	有馬 純	合併（公共）
0704232	日本経済Ⅱ	2	A1	星 岳雄	合併（公共・総文）
0704233	* 財政Ⅱ	2	A1	林 正義	
0704234	金融Ⅱ	2	S2	福田・田中	合併（法学）
0704235	産業組織Ⅱ	2	A1	川合 慶	
0704236	* 労働経済Ⅱ	2	A2	山口 慎太郎	合併（法学）
0704237	都市経済Ⅱ	2	A2	佐藤 泰裕	
0704238	国際経済Ⅱ	2	S2	西岡 修一郎	合併（法学）
0704242	金融制度の企画と運用	2	S1S2	守屋 貴之	合併（公共）
0704243	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	2	S1S2	JIN Bei	合併（公共・法学）
0704244	政策担当者が語る日本の財政金融論	2	S1S2	服部・仲	合併（公共）
0704247	* インフレーションと金融政策	2	A1A2	渡辺 努	合併（公共）
0704248	日本の未来と個人の役割	2	S1S2(集中)	宗像・西田・島田	合併（公共・工学系・法学）
0704252	* 上級世界経済Ⅰ	2	S1S2	丸川・小野塚・板井	
0704253	* 上級世界経済Ⅱ	2	A1A2	丸川・伊藤・大泉	
0704254	* Data Science for Practical Economic Research	2	S2	Kucheryavyy Konstantin	合併（公共）
0704256	* 上級労働経済学	2	S1S2	川田 恵介	合併（公共）
0704258	* Political Economics	2	A1A2	WEESE・渡辺	合併（公共）
0704261	* 上級労働経済学Ⅱ	2	A1A2	川口 大司	合併（公共）
0704262	* Topics in Political Economics	2	A1A2	渡辺・WEESE	合併（公共）
0704264	* Essential Academic Skills	2	A1A2	LOU Yichuan	合併（公共）
0704265	* Topics in Empirical Microeconomics	2	A1A2	SON Suk Joon	合併（公共）
0704266	* Economic Analysis of Pandemics	2	S1S2	岩本・仲田	合併（公共）
0704269	* Probability Theory and Applications to Economic Theory	2	S1S2	高橋 悟	
0704316	流通経営	2	A1A2	藤岡 里圭	
0704352	* グローバル・ベンチャリングⅡ	2	S2	中野 剛治	
0704353	* I C T マネジメントⅡ	2	A1	生稲 史彦	
0704354	* 経営学特論（経営学研究法）	2	A1A2	各教員（経営学コース）	
0704420	現代日本経済史Ⅱ	2	A2	小島 庸平	
0704422	近代日本経済史Ⅱ	2	S2	谷本 雅之	
0704455	* Historical Political Economy	2	A1A2	佐々木 優	
0704501	経済データ分析	2	S1S2	大森 裕浩	
0704536	産業事情「エネルギー市場/コモディティ市場」	2	S1S2	石崎・山岡	
0704537	産業事情「コンサルティング産業の地殻変動」	2	A1A2	則武 譲二	
0705021	* ビジネスエコノミクス	2	A2	柳川 範之	

0705022-01	* Financial System I (金融システム論 I)	2	S1	星 岳雄	合併 (公共)
0705023	* 金融政策	2	S1	青木 浩介	合併 (公共)
0705031	* 国際経営 II	2	S2	大木 清弘	合併 (法学)
0705032	* 技術経営 II	2	A2	桑嶋 健一	
0705562	* 保険数理 II	2	S1S2	岩沢 宏和	
0705563	* 保険数理 III	2	A1A2	松平 直之	
0705564	* 実証ファイナンス	2	A2	津田 博史	
0705565	* 上級デリバティブ演習 I	2	S1S2	藤井 優成	
0705566	* 数量ファイナンス特論 II (c++プログラミングによるデリバティブ・プライシング)	2	A1A2	高田 勝己	
0705567	* 数量ファイナンス II	2	A1A2	中里 宗敬	
0705568	* 財務会計 II	2	S2	米山 正樹	
0705570	* 数量ファイナンス I	2	S1S2	尾張 圭太	
0705571	* 上級デリバティブ	2	S1S2	中里 大輔	
0705573	* インベストメント	2	S1S2	山内 英貴	
0705574	* コーポレート・ガバナンス	2	A1A2	江川 雅子	
0705576	* 数量ファイナンス特論 I (証券投資：理論と実践)	2	A1A2	小松 高広	
0705577	* アクチュアリーワークショップ I	2	S1S2	岩沢 宏和	
0705578	* アクチュアリーワークショップ II	2	A1A2	岩沢 宏和	
0705579	* ファイナンスのための確率 I	2	S1S2	尾張 圭太	
0705701	* 数学 I	2	S1S2	入江 薫	
0705702	* 数学 II	2	S1	尾山 大輔	
0705703	民法 (1)	2	S1S2	山下 純司	
0705704	民法 (2)	4	S1S2	水津 太郎	合併 (法学)
0705705	行政法	4	S1S2	齋藤 誠	合併 (法学)
0705706	労働法	4	A1A2	荒木 尚志	合併 (法学)
0705707	商法 (1)	4	S1S2	加藤 貴仁	合併 (法学)
0705708	商法 (2)	4	S1S2	後藤 元	合併 (法学)
0705709	商法 (3)	4	A1A2	松井 智予	合併 (法学)
0705710	経済法	4	A1A2	VANDE WALLE, Simon A.W.	合併 (法学・公共・法学系)
0705712	日本政治史	4	A1A2	五百旗頭 薫	合併 (法学)
0705713	日本政治	4	S1S2	境家 史郎	合併 (法学)

【備考 (上記表中)】

1. 「共 1」は専門科目 2・専門科目 3・専門科目 4、「共 2」は専門科目 2・専門科目 4、「共 3」は専門科目 3・専門科目 4、との共通科目を表す。
2. 「*」は、学部学生の履修を認める大学院科目を表す。
3. 「駒場開講」は、持出専門科目となっている科目を表し、教養学部前期課程の授業日程により開講する。
4. 「合併」は、法学は法学部、公共は公共政策大学院、法学系は法学政治学研究科、総文は総合文化研究科、工学系は工学系研究科との合併科目を表す。そのうち、二重下線のある科目は、当該部局の授業日程により開講する。

令和 6（2024）年度開講予定科目・授業担当者表

【令和 3（2021）年度以降の経済学部進学者用】

区分	時間割コード	授業科目名	単位数	学期	担当者	備考
専門科目 1（学科共通選択必修）						
	0701102-01	ミクロ経済学Ⅰ	2	A1	神取 道宏	駒場開講
	0701102-02	ミクロ経済学Ⅱ	2	A2	神取 道宏	駒場開講
	0701103-01	マクロ経済学Ⅰ	2	A1	中嶋 智之	駒場開講
	0701103-02	マクロ経済学Ⅱ	2	A2	中嶋 智之	駒場開講
	0701104-01	統計Ⅰ	2	A1	入江 薫	駒場開講／合併（法学）
	0701104-02	統計Ⅱ	2	A2	入江 薫	駒場開講／合併（法学）
	0701301-01	経営	2	A1	清水 剛	駒場開講
	0701302-01	ファイナンス	2	A2	佐藤 整尚	駒場開講
	0701302-02	ゲーム理論	2	S1	高橋 悟	
	0701303-01	会計	2	A1	大日方 隆	駒場開講
	0701401-01	経済史Ⅰ	2	A2	谷本・石原	駒場開講
	0701401-02	経済史Ⅱ	2	S1	佐々木 優	
専門科目 2（経済学科選択必修）						
	0702101-01	経済学史Ⅰ	2	A1	上野 大樹	
	0702102-01	共1 計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	
	0702104-01	現代資本主義論Ⅰ	2	A1	柴崎 慎也	
	0702105-01	共2 数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也	
	0702110	共2 * メカニズム・デザイン	2	A1	松島 斉	
	0702201-01	日本経済Ⅰ	2	S1	星 岳雄	
	0702202-01	共2 * 財政Ⅰ	2	S2	林 正義	
	0702203-01	共2 金融Ⅰ	2	S1	福田・随	合併（法学）
	0702204-01	共1 産業組織Ⅰ	2	S1	佐々木 弾	
	0702206-01	* 労働経済Ⅰ	2	A1	山口 慎太郎	合併（法学）
	0702207-01	都市経済Ⅰ	2	A1	佐藤 泰裕	
	0702208-01	国際経済Ⅰ	2	S1	古澤 泰治	合併（法学）
	0702209-01	開発経済Ⅰ	2	S1	澤田 康幸	
	0702212	共1 国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
	0702401-01	現代日本経済史Ⅰ	2	A1	小島 庸平	
	0702402-01	現代西洋経済史Ⅰ	2	A1	石原 俊時	
	0702403-01	近代日本経済史Ⅰ	2	S1	谷本 雅之	
	0702404	アジア経済史	2	A2	城山 智子	
	0704015	共1 * 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
専門科目 3（経営学科選択必修）						
	0702102-01	共1 計量経済学Ⅰ	2	A1	奥井 亮	
	0702204-01	共1 産業組織Ⅰ	2	S1	佐々木 弾	
	0702212	共1 国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
	0703302-01	共3 経営戦略Ⅰ	2	A2	福澤 光啓	

0703305-01	共3	経営史 I	2	S1	山本 浩司	
0703306-01	共3	日本経営史 I	2	A1	粕谷 誠	
0703307-01	共3	マーケティング I	2	S1	阿部 誠	
0703308-01		経営科学 I	2	A1	北上 靖大	
0703309-01	共3	財務会計 I	2	S1	米山 正樹	
0703310-01	共3	管理会計 I	2	S1	諸藤 裕美	
0703314-01		技術経営 I	2	A1	桑嶋 健一	
0703316		ICTマネジメント I	2	S1	高井 文子	
0703317		フード・システム I	2	S1	元木 康介	
0703318		グローバル・ベンチャリング I	2	A1	中野 剛治	
0703319	共3	生産システム I	2	S2	徐 寧教	
0703320	共3	雇用システム I	2	A2	禹 宗杭	
0703321	共3	経営管理 I	2	S2	舟津 昌平	
0704015	共1	* 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
0704311-01		国際経営 I	2	S1	大木 清弘	合併（法学）
0704706	共3	経営財務 I	2	A1A2	山本 功	
専門科目 4（金融学科選択必修）						
0702102-01	共1	計量経済学 I	2	A1	奥井 亮	
0702105-01	共2	数理統計 I	2	S1	久保川 達也	
0702110	共2	* メカニズム・デザイン	2	A1	松島 斉	
0702202-01	共2	* 財政 I	2	S2	林 正義	
0702203-01	共2	金融 I	2	S1	福田・随	合併（法学）
0702204-01	共1	産業組織 I	2	S1	佐々木 弾	
0702212	共1	国際金融	2	A1A2	青木 浩介	
0703302-01	共3	経営戦略 I	2	A2	福澤 光啓	
0703305-01	共3	経営史 I	2	S1	山本 浩司	
0703306-01	共3	日本経営史 I	2	A1	粕谷 誠	
0703307-01	共3	マーケティング I	2	S1	阿部 誠	
0703309-01	共3	財務会計 I	2	S1	米山 正樹	
0703310-01	共3	管理会計 I	2	S1	諸藤 裕美	
0703319	共3	生産システム I	2	S2	徐 寧教	
0703320	共3	雇用システム I	2	A2	禹 宗杭	
0703321	共3	経営管理 I	2	S2	舟津 昌平	
0704015	共1	* 経済学のための数学	2	S1S2	尾山 大輔	
0704703-01		* 保険数理 I	2	S1S2	森本 祐司	
0704706	共3	経営財務 I	2	A1A2	山本 功	
0704753		* 金融機関のリスク管理	2	S1S2	池森 俊文	
0704806-01		プログラミング	2	S1S2	白谷 健一郎	
0705503		* デリバティブ	2	S1S2	藤井 優成	
選択科目						
0704012-01		* 上級ミクロ経済学 I	2	S1S2	松井 彰彦	

0704012-02	* 上級ミクロ経済学Ⅱ	2	A1A2	小島 武仁	合併（公共・総文）
0704013-01	* 上級マクロ経済学Ⅰ	2	S1S2	青木・新谷	
0704013-02	* 上級マクロ経済学Ⅱ	2	A1A2	北尾 早霧	
0704019	* 経済学方法論	2	A1A2	小沢 佳史	
0704020	* 上級経済原論	2	A1	結城 剛志	
0704034	* 経営戦略特論	2	S1S2	稲水・大木	
0704041	* 上級日本経済史Ⅰ	2	S1S2	中林 真幸	
0704042	* 上級西洋経済史Ⅰ	2	S1S2	石原 俊時	
0704050	* 政治経済学	2	A1A2	原谷 直樹	
0704056-01	* 上級計量経済学Ⅰ	2	S1	下津 克己	
0704056-02	* 上級計量経済学Ⅱ	2	S2	奥井 亮	
0704068	* 上級開発経済	2	S2	澤田 康幸	
0704071	* 経営管理Ⅱ	2	A2	舟津 昌平	
0704072	* フード・システムⅡ	2	S2	元木 康介	
0704076	* 経営史Ⅱ	2	S2	山本 浩司	
0704077	* 日本経営史Ⅱ	2	A2	粕谷 誠	
0704078	* マーケティングⅡ	2	S2	阿部 誠	
0704081	* 上級日本経済史Ⅱ	2	A1A2	中林 真幸	
0704082	* 上級アジア経済史	2	S1S2	城山 智子	
0704115	経済学史Ⅱ	2	A2	上野 大樹	
0704116	計量経済学Ⅱ	2	A2	奥井 亮	
0704117	現代資本主義論Ⅱ	2	A2	柴崎 慎也	
0704118	数理統計Ⅱ	2	S2	久保川 達也	
0704122	文科系のための線形代数・解析Ⅰ	2	S1	藤堂・松尾・島田	
0704123	文科系のための線形代数・解析Ⅱ	2	S2	藤堂・松尾・島田	
0704131	経済原論Ⅰ	2	A1	江原 慶	合併（総文）
0704132	経済原論Ⅱ	2	A2	江原 慶	
0704133	* 上級経済学史	2	S1S2	板井 広明	
0704134	* 社会・経済思想	2	A1A2	板井 広明	
0704135	* Text Analysis for Economics and Area Studies	2	A1A2	伊藤 亜聖	
0704152	経済統計	2	S1S2	肥後 雅博	
0704153	人口統計	2	S1S2	金子 隆一	
0704154	* 応用経済統計	2	A1A2	肥後 雅博	
0704162-01	* 上級数理統計Ⅰ	2	S1	久保川 達也	
0704162-02	* 上級数理統計Ⅱ	2	S2	久保川 達也	
0704163	* Topics in Economic Theory	2	A1	尾山 大輔	合併（公共）
0704169	* Advanced Time Series Analysis（上級時系列分析）	2	A1A2	新谷 元嗣	
0704170	* Empirical analysis of dynamic macroeconomic models	2	S1S2	新谷 元嗣	合併（公共）
0704174	* Big Tech and Competition Law	2	A1A2	VANDE WALLE, Simon A.W.	合併（法学系・法学・公共）
0704175	マーケットデザイン	2	S1S2	野田 俊也	
0704177	* マクロ経済動学	2	S1S2	楡井 誠	
0704180	経済学とコンピューターサイエンスⅠ	2	S1S2	坂口 翔政	

0704181	経済学とコンピューターサイエンスⅡ	2	A1A2	坂口 翔政	
0704182	* グリーンエネルギー論	2	S1S2	杉山 正和	合併（公共）
0704185	* Discrete Choice Models	2	A1	SON Suk Joon	合併（公共）
0704189	社会的共通資本の経済学	2	A2	松島 齊	
0704190	* 政策・ビジネスのためのデータ分析	2	S1S2	植田 健一	合併（公共）
0704202	政府間財政	2	A2	後藤 剛志	
0704222	エネルギー政策	2	S1S2	有馬・小山	合併（ <u>公共</u> ）
0704223	環境政策	2	A1A2	有馬 純	合併（ <u>公共</u> ）
0704232	日本経済Ⅱ	2	A1	星 岳雄	合併（公共・総文）
0704233	* 財政Ⅱ	2	A1	林 正義	
0704234	金融Ⅱ	2	S2	福田・田中	合併（法学）
0704235	産業組織Ⅱ	2	A1	川合 慶	
0704236	* 労働経済Ⅱ	2	A2	山口 慎太郎	合併（法学）
0704237	都市経済Ⅱ	2	A2	佐藤 泰裕	
0704238	国際経済Ⅱ	2	S2	西岡 修一郎	合併（法学）
0704242	金融制度の企画と運用	2	S1S2	守屋 貴之	合併（ <u>公共</u> ）
0704243	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	2	S1S2	JIN Bei	合併（ <u>公共</u> ・法学）
0704244	政策担当者が語る日本の財政金融論	2	S1S2	服部・仲	合併（ <u>公共</u> ）
0704247	* インフレーションと金融政策	2	A1A2	渡辺 努	合併（ <u>公共</u> ）
0704248	日本の未来と個人の役割	2	S1S2(集中)	宗像・西田・島田	合併（ <u>公共</u> ・工学系・法学）
0704252	* 上級世界経済Ⅰ	2	S1S2	丸川・小野塚・板井	
0704253	* 上級世界経済Ⅱ	2	A1A2	丸川・伊藤・大泉	
0704254	* Data Science for Practical Economic Research	2	S2	Kucheryavyy Konstantin	合併（公共）
0704256	* 上級労働経済学	2	S1S2	川田 恵介	合併（公共）
0704258	* Political Economics	2	A1A2	WEESE・渡辺	合併（公共）
0704261	* 上級労働経済学Ⅱ	2	A1A2	川口 大司	合併（公共）
0704262	* Topics in Political Economics	2	A1A2	渡辺・WEESE	合併（公共）
0704264	* Essential Academic Skills	2	A1A2	LOU Yichuan	合併（公共）
0704265	* Topics in Empirical Microeconomics	2	A1A2	SON Suk Joon	合併（公共）
0704266	* Economic Analysis of Pandemics	2	S1S2	岩本・仲田	合併（公共）
0704269	* Probability Theory and Applications to Economic Theory	2	S1S2	高橋 悟	
0704316	流通経営	2	A1A2	藤岡 里圭	
0704352	* グローバル・ベンチャリングⅡ	2	S2	中野 剛治	
0704353	* I C T マネジメントⅡ	2	A1	生稲 史彦	
0704354	* 経営学特論（経営学研究法）	2	A1A2	各教員（経営学コース）	
0704420	現代日本経済史Ⅱ	2	A2	小島 庸平	
0704422	近代日本経済史Ⅱ	2	S2	谷本 雅之	
0704455	* Historical Political Economy	2	A1A2	佐々木 優	
0704501	経済データ分析	2	S1S2	大森 裕浩	
0704536	産業事情「エネルギー市場/コモディティ市場」	2	S1S2	石崎・山岡	
0704537	産業事情「コンサルティング産業の地殻変動」	2	A1A2	則武 譲二	
0705021	* ビジネスエコノミクス	2	A2	柳川 範之	

0705022-01	* Financial System I (金融システム論 I)	2	S1	星 岳雄	合併 (公共)
0705023	* 金融政策	2	S1	青木 浩介	合併 (公共)
0705031	* 国際経営 II	2	S2	大木 清弘	合併 (法学)
0705032	* 技術経営 II	2	A2	桑嶋 健一	
0705562	* 保険数理 II	2	S1S2	岩沢 宏和	
0705563	* 保険数理 III	2	A1A2	松平 直之	
0705564	* 実証ファイナンス	2	A2	津田 博史	
0705565	* 上級デリバティブ演習 I	2	S1S2	藤井 優成	
0705566	* 数量ファイナンス特論 II (c++プログラミングによるデリバティブ・プライシング)	2	A1A2	高田 勝己	
0705567	* 数量ファイナンス II	2	A1A2	中里 宗敬	
0705568	* 財務会計 II	2	S2	米山 正樹	
0705570	* 数量ファイナンス I	2	S1S2	尾張 圭太	
0705571	* 上級デリバティブ	2	S1S2	中里 大輔	
0705573	* インベストメント	2	S1S2	山内 英貴	
0705574	* コーポレート・ガバナンス	2	A1A2	江川 雅子	
0705576	* 数量ファイナンス特論 I (証券投資：理論と実践)	2	A1A2	小松 高広	
0705577	* アクチュアリーワークショップ I	2	S1S2	岩沢 宏和	
0705578	* アクチュアリーワークショップ II	2	A1A2	岩沢 宏和	
0705579	* ファイナンスのための確率 I	2	S1S2	尾張 圭太	
0705701	* 数学 I	2	S1S2	入江 薫	
0705702	* 数学 II	2	S1	尾山 大輔	
0705703	民法 (1)	2	S1S2	山下 純司	
0705704	民法 (2)	4	S1S2	水津 太郎	合併 (法学)
0705705	行政法	4	S1S2	齋藤 誠	合併 (法学)
0705706	労働法	4	A1A2	荒木 尚志	合併 (法学)
0705707	商法 (1)	4	S1S2	加藤 貴仁	合併 (法学)
0705708	商法 (2)	4	S1S2	後藤 元	合併 (法学)
0705709	商法 (3)	4	A1A2	松井 智予	合併 (法学)
0705710	経済法	4	A1A2	VANDE WALLE, Simon A.W.	合併 (法学・公共・法学系)
0705712	日本政治史	4	A1A2	五百旗頭 薫	合併 (法学)
0705713	日本政治	4	S1S2	境家 史郎	合併 (法学)

【備考 (上記表中)】

1. 「共 1」は専門科目 2・専門科目 3・専門科目 4、「共 2」は専門科目 2・専門科目 4、「共 3」は専門科目 3・専門科目 4、との共通科目を表す。
2. 「*」は、学部学生の履修を認める大学院科目を表す。
3. 「駒場開講」は、持出専門科目となっている科目を表し、教養学部前期課程の授業日程により開講する。
4. 「合併」は、法学は法学部、公共は公共政策大学院、法学系は法学政治学研究科、総文は総合文化研究科、工学系は工学系研究科との合併科目を表す。そのうち、二重下線のある科目は、当該部局の授業日程により開講する。

時間割（専門科目 1）

※ 時間割は変更となる場合があるので、掲示及び経済学部 WEB サイトを随時確認すること。専門科目 1 以外の科目の時間割は、掲示及び経済学部 WEB サイトを参照すること。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/jikanwari.html>

令和6（2024）年度「専門科目1」時間割及び授業日程

<「令和2（2020）年度以前の経済学部進学者」を対象>

【S1ターム】

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日			経済史Ⅱ 佐々木 優		
火曜日			ゲーム理論 高橋 悟		
水曜日					
木曜日			経済史Ⅱ 佐々木 優		
金曜日			ゲーム理論 高橋 悟		

授業期間（経済学部）： 4月 5日（金）～ 5月24日（金）

※ 4月12日（金）は、授業休止。

※ 5月15日（水）は、水曜日の授業は

※ 5月 3日（金・祝日）は、金曜日の授業を行う。

行わずに金曜日の授業を行う。

※ 5月 7日（火）は、火曜日の授業は

※ 5月17日（金）は、授業休止。

行わずに月曜日の授業を行う。

試験期間（経済学部）： 5月27日（月）、5月28日（火）、5月29日（水）、
5月30日（木）、5月31日（金）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、6/2(日)にも行う。

【A 1 ターム】

※授業期間と試験期間について、経済原論Ⅰのみ、経済学部の日程による。（それ以外は、教養学部前期課程による。）

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日					
火曜日	統計Ⅰ 入江 薫		マクロ経済学Ⅰ 中嶋 智之		
			経済原論Ⅰ 江原 慶		
水曜日					
木曜日	会計 大日方 隆				
金曜日	ミクロ経済学Ⅰ 神取 道宏		経営 清水 剛		

授業期間（教養学部前期課程）：10月 2日（火）～11月20日（水）

※11月 4日（月・祝日）は、月曜日の授業を行う。

※11月25日（月）は、午後のみ、補講日。

※11月13日（水）は、水曜日の授業は

※11月26日（火）は、補講日。

行わずに月曜日の授業を行う。

《共通》試験期間：

2月4日（火）、2月5日（水）、2月6日（木）、2月7日（金）、2月10日（月）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、2/8(土)にも行う。

【A 2 ターム】

※授業期間と試験期間について、経済原論Ⅱのみ、経済学部の日程による。（それ以外は、教養学部前期課程による。）

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日	ファイナンス 佐藤 整尚				
火曜日	統計Ⅱ 入江 薫		マクロ経済学Ⅱ 中嶋 智之		
			経済原論Ⅱ 江原 慶		
水曜日					
木曜日					
金曜日	ミクロ経済学Ⅱ 神取 道宏		経済史Ⅰ 谷本・石原		

授業期間（教養学部前期課程）：11月28日（木）～ 1月29日（水）

※12月28日（土）～ 1月 5日（日）は、授業休止（休業）。

※ 1月16日（木）は、補講日。

※ 1月21日（火）は、補講日。

※ 1月17日（金）は、授業休止。

※ 1月22日（水）は、補講日。

《共通》試験期間：

2月4日（火）、2月5日（水）、2月6日（木）、2月7日（金）、2月10日（月）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、2/8(土)にも行う。

令和 6（2024）年度「専門科目 1」時間割及び授業日程
 ＜「令和3（2021）年度～令和 6（2024）年度の経済学部進学者」を対象＞

【S 1 ターム】

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日			経済史Ⅱ 佐々木 優		
火曜日			ゲーム理論 高橋 悟		
水曜日					
木曜日			経済史Ⅱ 佐々木 優		
金曜日			ゲーム理論 高橋 悟		

授業期間（経済学部）： 4 月 5 日（金）～ 5 月 24 日（金）

※ 4 月 12 日（金）は、授業休止。

※ 5 月 15 日（水）は、水曜日の授業は

※ 5 月 3 日（金・祝日）は、金曜日の授業を行う。

行わずに金曜日の授業を行う。

※ 5 月 7 日（火）は、火曜日の授業は

※ 5 月 17 日（金）は、授業休止。

行わずに月曜日の授業を行う。

試験期間（経済学部）： 5 月 27 日（月）、5 月 28 日（火）、5 月 29 日（水）、
 5 月 30 日（木）、5 月 31 日（金）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、6/2(日)にも行う。

【A 1 ターム】

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日					
火曜日	統計Ⅰ 入江 薫		マクロ経済学Ⅰ 中嶋 智之		
水曜日					
木曜日	会計 大日方 隆				
金曜日	ミクロ経済学Ⅰ 神取 道宏		経営 清水 剛		

授業期間（教養学部前期課程）：10月 2日（火）～11月20日（水）

※11月 4日（月・祝日）は、月曜日の授業を行う。

※11月25日（月）は、午後のみ、補講日。

※11月13日（水）は、水曜日の授業は

※11月26日（火）は、補講日。

行わずに月曜日の授業を行う。

《共通》試験期間：

2月4日（火）、2月5日（水）、2月6日（木）、2月7日（金）、2月10日（月）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、2/8(土)にも行う。

【A 2 ターム】

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日	ファイナンス 佐藤 整尚				
火曜日	統計Ⅱ 入江 薫		マクロ経済学Ⅱ 中嶋 智之		
水曜日					
木曜日					
金曜日	ミクロ経済学Ⅱ 神取 道宏		経済史Ⅰ 谷本・石原		

授業期間（教養学部前期課程）：11月28日（木）～ 1月29日（水）

※12月28日（土）～ 1月 5日（日）は、授業休止（休業）。

※ 1月16日（木）は、補講日。

※ 1月21日（火）は、補講日。

※ 1月17日（金）は、授業休止。

※ 1月22日（水）は、補講日。

《共通》試験期間：

2月4日（火）、2月5日（水）、2月6日（木）、2月7日（金）、2月10日（月）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、2/8(土)にも行う。

令和 6（2024）年度「専門科目 1」時間割及び授業日程

<「令和 7（2025）年度の経済学部進学内定者（教養学部前期課程 2 年生）」を対象>

【A 1 ターム】

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日					
火曜日	統計 I 入江 薫		マクロ経済学 I 中嶋 智之		
水曜日					
木曜日	会計 大日方 隆				
金曜日	ミクロ経済学 I 神取 道宏		経営 清水 剛		

授業期間（教養学部前期課程）：10月 2日（火）～11月20日（水）

※11月 4日（月・祝日）は、月曜日の授業を行う。 ※11月25日（月）は、午後のみ、補講日。

※11月13日（水）は、水曜日の授業は
行わずに月曜日の授業を行う。 ※11月26日（火）は、補講日。

《共通》試験期間：

2月4日（火）、2月5日（水）、2月6日（木）、2月7日（金）、2月10日（月）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、2/8(土)にも行う。

【A 2 ターム】

	1 限(08:30～10:15)	2 限(10:25～12:10)	3 限(13:00～14:45)	4 限(14:55～16:40)	5 限(16:50～18:35)
月曜日	ファイナンス 佐藤 整尚				
火曜日	統計 II 入江 薫		マクロ経済学 II 中嶋 智之		
水曜日					
木曜日					
金曜日	ミクロ経済学 II 神取 道宏		経済史 I 谷本・石原		

授業期間（教養学部前期課程）：11月28日（木）～ 1月29日（水）

※12月28日（土）～ 1月 5日（日）は、授業休止（休業）。

※ 1月16日（木）は、補講日。 ※ 1月21日（火）は、補講日。

※ 1月17日（金）は、授業休止。 ※ 1月22日（水）は、補講日。

《共通》試験期間：

2月4日（火）、2月5日（水）、2月6日（木）、2月7日（金）、2月10日（月）

当該試験期間内に対象となる全ての授業科目の試験の時間割を調整できない場合、一部の授業科目については、2/8(土)にも行う。

II 演習・少人数講義参加者募集要項

II 演習・少人数講義参加者募集要項

1. 演習・少人数講義の履修

経済学部では、各教員によって演習もしくは少人数講義のいずれかが開講されることになっています。演習・少人数講義の参加は許可制になり、年度当初の4月上旬に参加者募集があり、所定の期間内に所定の方法で参加申込を行い、指導教員から参加許可を受ける必要があります。

卒業単位として認められる単位数は、演習については、年度（S1・S2・A1・A2）開講となっており、同一年度に8単位（2演習）まで、在学期間内に16単位（同一演習は8単位）まで履修が認められています。少人数講義については、制限はありません。

全ての演習・少人数講義は、年度当初の4月上旬に参加者募集があり、このタイミングにおいて一括して参加申込を行う必要がありますが、A1・A2等を開講する少人数講義のうち年度当初に予定募集人数に達しなかった少人数講義については、追加募集を行うことがあります。参加申込方法及び時期等の詳細については、掲示により周知を行います。

なお、原則として、参加許可を受けた演習・少人数講義の取消及び変更は認められませんので、年間を通じた履修計画をたてた上で参加申込を行うようにしてください。

2. 演習・少人数講義の参加申込等

参加者募集、参加許可発表、第二次または第三次募集の有無等の関係する全ての告知、並びに参加申込書の提出については、UTOL (UTokyo LMS) により行います。詳細については、掲示により周知を行います。

ー経済学部4年のうち、令和5(2023)年度に演習・少人数講義の参加許可を受け、履修登録が行われており、令和6(2024)年度も引き続き、同様の担当教員の演習・少人数講義の参加を希望する場合であっても、令和6(2024)年度の参加申込を行い、所定の期間内に所定の方法で参加申込を行い、担当教員から参加許可を受けなければ、履修することができません。

ー所定の期間外の、または所定の方法によらない（直接、担当教員に提出書類を提出する等の）参加申込については、一切受理することができません。また、提出書類の記入に不備がある場合は、参加申込が無効となる場合があります。

3. 演習・少人数講義案内

—演習参加者募集要項—

時間割コード	担当教員	開講		
0704649	神取 道宏	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	44
0704654	福田 慎一	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	45
0704655	柳川 範之	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	46
0704656	粕谷 誠	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	46
0704657	大日方 隆	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	47
0704658	谷本 雅之	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	48
0704661	大森 裕浩	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	49
0704663	石原 俊時	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	50
0704664	澤田 康幸	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	51
0704669	松島 斉	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	52
0704673	青木 浩介	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	53
0704674	林 正義	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	53
0704675	桑嶋 健一	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	54
0704676	渡辺 努	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	55
0704679	米山 正樹	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	56
0704680	佐藤 整尚	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	57
0704681	城山 智子	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	57
0704683	大橋 弘	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	58
0704684	首藤 昭信	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	59
0704687	佐藤 泰裕	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	60
0704688	植田 健一	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	61
0704692	山口 慎太郎	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	62
0704693	古澤 泰治	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	63
0704694	藤井 優成	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	64
0704697	新谷 元嗣	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	66
0704698	星 岳雄	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	66
0704911	小島 庸平	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	67
0704912	白谷 健一郎	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	67
0704913	大木 清弘	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	68

0704915	奥井 亮	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	70
0704917	山本 浩司	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	71
0704918	今泉 飛鳥	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	73
0704919	田中 万里	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	74
0704920	藤岡 里圭	S1S2A1A2	・ ・ ・ ・ ・	75

—少人数講義参加者募集要項—

時間割コード	担当教員	開講		
0704813I	久保川 達也 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	78
0704814E	久保川 達也 (II)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	79
0704825T	阿部 誠 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	80
0704826S	阿部 誠 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	81
0704827	松井 彰彦 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	83
0704828	松井 彰彦 (II)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	83
0704853W	下津 克己 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	84
0704854W	下津 克己 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	85
0704862	尾山 大輔 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	86
0704863	尾山 大輔 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	86
0704871	Griffen Andrew Shields (I)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	87
0704875	Griffen Andrew Shields (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	87
0704872	中嶋 智之 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	88
0704873	中嶋 智之 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	88
0704876	小島 武仁 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	89
0704877	小島 武仁 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	90
0704880	高橋 悟 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	91
0704884	入江 薫 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	92
0704885	入江 薫 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	92
0704886	稲水 伸行 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	93
0704887	高橋 明彦 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	94
0704888	高橋 明彦 (II)	A1A2	・ ・ ・ ・ ・	94
0704889	楡井 誠 (I)	S1S2	・ ・ ・ ・ ・	95

シラバス（演習）

※ 本冊子の内容は、「UTAS」のシラバスの一部抜粋である。詳細及び最新の内容は「UTAS」を参照すること。また、演習・少人数講義以外の科目のシラバスは、「UTAS」を参照すること。

時間割コード：0704649		担当教員：神取 道宏	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（神取） 演習テーマ：理論経済学実習 授業の目標、概要：ゲーム理論、情報の経済学、経済制度のデザインなど、経済理論の最新の成果を演習形式で身につけ、参加者とともに研究を行うことを目的とする。 授業計画：テキストを中心に受動的に学習することよりも、現実問題への応用のプロジェクト、実験、理論的問題の討議などを第一の目的とし、必要に応じてテクニック・情報を適宜学習する。このようにして参加者自らが研究を行うことにより、理論的な思考、明確なプレゼンテーション、生産的な議論のしかた、現実問題への応用のセンスなどを培ってゆきたい。 取り上げるトピックスは、 ①最新の研究成果に関連して、 ②かつ現実の社会経済問題を考えるのに役に立つようなものを選ぶことを伝統としている。ちなみに昨年度は、経済理論を使って最適に設計した制度を社会で実用化する「マーケットデザイン」を取り上げ、次のような意欲的な取り組みを行った。 最適な制度設計の様々な問題は、これまで優れた研究者のひらめきによって解かれてきたが、理論的に解くことが困難な重要問題が非常にたくさん残っている。そこで、ディープラーニングなどの AI や計算機の力を借りて、これまで知られていなかった最適な制度を見つけてゆくことに挑戦する。 昨年は 40 年以上未解決であった有名な困難問題である「多数財最適オークション設計」において、これまでにしてもっとも一般性の高い結果を得ることに成功した（大発見です！）。 本年もこの線に沿った研究をする予定であるが、詳細は開講時に学生と相談の上決定する。 授業の方法：ディスカッション、実験、計算シミュレーション、調査など			
	テキスト	教科書：開講時に指示する 参考書：開講時に指示する	成績評価方法	出席（2 回以上の欠席は理由の如何にかかわらず成績に影響します）、討論への貢献。2025 年 3 月卒業予定者は、卒業論文を本演習で発表の上、学部所定の期限内に提出することを、単位取得の要件とする。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 申込書類：継続参加・新規参加者ともに、学部所定の演習参加書類を提出すること。 新規参加希望者は、現在関心を持っている経済問題・経済学の分野と、大学に入ってから読んで感銘を受けた学術書（教科書・新書などを含む）2 冊についての要約と感想・自己 P R を 3000 字程度にまとめたものを提出すること。 選考方法：面接の上、新規演習参加者を決定する。 新規募集人員：8－10 名程度 2024 年度以降の開講予定：有 その他：専門科目 1（駒場開講）のうち、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「統計」を履修していることが望ましい。			

時間割コード：0704654	担当教員：福田 慎一	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（福田） 授業の目標、概要：日本経済を中心とした最近のマクロ経済学および金融・国際金融の諸問題を勉強する。本年度はとくに金融市場にフォーカスを当てて勉強する。日本の金融システムは、かつては銀行が中心な役割を果たしてきました。しかし、世界的に「貯蓄から投資へ」の流れが加速するなかで、リスクをとった投資による経済成長をいかに実現するかは、日本経済でも重要な研究テーマになりつつあります。ゼミでは、金融市場のメカニズムを考察することで、日本経済が今後持続的な経済成長を実現するにはわれわれは何をするべきかを議論したいと考えています。 授業計画：夏学期は、はじめに関連の基本文献を輪読して基礎知識をマスターすることに重点を置くが、ある程度基礎ができた段階で演習参加者をいくつかのグループに分け、選択したテーマごとに自主的に勉強を含めて報告の準備をしてもらい、その最終的な成果を夏合宿で報告してもらう。冬学期は、3 年生は、一橋大学、慶応大学などとのインターゼミに向けてテーマを選択し、その関連の勉強を行う。4 年生は、3 年生時に学んだことをさらに発展させると同時に、卒業論文の作成に向けて、独自にテーマ選択をして勉強を進めてもらう。 授業の方法：基本文献の輪読およびゼミ生の報告による。時事問題に関する議論や、計量経済学の手法を使った日本経済の分析を適宜、行ってもらう。		
テキスト	教科書：参加者と相談して決定する。 参考書：参加者と相談して決定する。	成績評価方法	ゼミの出席および 4 年時のゼミ論の提出。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：参加希望の理由についてレポート（枚数自由）を提出する。レポートでは、「経済学について、これまでどのような勉強をしてきたか?」「経済学のどのような分野に関心があるか?」などをまとめて下さい。 選考方法：申込書類および面接による。面接の日時は、以下を参照のこと。 新規参加人員：10 名		

時間割コード：0704655		担当教員：柳川 範之		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（柳川） 演習テーマ：起業に関連した「ビジネスエコノミクス」と「金融」 授業の目標、概要：この演習では、現実の諸問題を経済学的に分析する能力を身につけることを重点におきます。 今年度については、起業に関連した、現実の企業活動や金融取引、そしてそれを取り巻く法律等の制度的環境に焦点をあてて演習を行います。参加者には、経済学の発想や考え方に基づいて経済現象を考える能力を養って欲しいと思っています。そのためには、参加者が自分の頭で考えることが重要なので、熱意のある参加者を希望します。ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎知識はあるほうが望ましいですが、必須ではありません。 授業計画：前半と後半で1冊ずつ関連した書籍を輪読する予定です。 授業の方法：原則、輪読とディスカッションで行います					
テキスト		教科書：未定です 参考書：未定です			成績評価方法	平常点で評価する	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：特になし その他： 申込書類： 簡単な自己紹介と本郷で何を勉強したいかを、レポート用紙2， 3枚程度にまとめて提出してください。意欲が読み取れるレポートを歓迎します。 選考方法：上記書類と書類に関連した質疑を行う面接で決定します。 新規参加人員： 1 2名程度を予定しています。 2025 年度以降の開講予定：継続して開講の予定です。					

時間割コード：0704656		担当教員：粕谷 誠		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（粕谷） 授業の目標、概要：起業の観点からの経営史 日本は世界と比べると起業が少ないといわれ続けている。本年度の演習では、経営史を学ぶ一環として、起業および企業家活動を学ぶこととし、基本的なテキストを素材に考察する。 授業計画：テキストを輪読していく。3,4 年生ともに卒論に向けた研究発表を数回おこなう。 授業の方法：演習形式					
テキスト		教科書：加藤雅俊『スタートアップの経済学—新しい企業の誕生と成長』有斐閣、2022。 参考書：開講中に指示する。		成績評価方法		演習への参加状況、発表、レポートなどを総合的に評価する。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 申込書類：志望者は志望動機を A4 で 1～2 枚程度に記して提出する。 選考方法：申込書類による。必要ならば面接をおこなうので、UTAS や ITC-LMS の掲示やメールなどに注意すること。 新規募集人員：3 年生を 6-8 名程度新規に募集する。 2025 年度の開講予定：あり。					

時間割コード：0704657		担当教員：大日方 隆		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（大日方） 演習テーマ：会計学の考え方（因果論と認識論） 授業の目標、概要：会計基準の内容は講義科目で解説されるので、この演習では、学術的検討に焦点を当てる。ものごとの本質を理解するとはどのようなことか、存在意義や因果関係を問うとはどのような行為かを学習する。会計学の基礎概念にとどまらず、哲学的な根本問題にまで立ち返って学習するとともに、高度な学知を体得することを目指す。 授業計画：履修者と相談の上で採用テキストを決め、参加者が輪番でレジュメを作成し、報告する。 授業の方法：疑問点、論争点、問題点について、学生が相互に討論するとともに、情報や知識が不足する場合は、教員が考える手がかりやヒントとなる解説を行う。					
テキスト		教科書：参加者と相談して決める。教科書や受験参考書ではない専門書・研究書（日本語文献、英語論文）を取り上げる予定である。基本的知識を習得するため、会計学以外の領域の比重がそれなりに高いことに注意。		成績評価方法		ゼミへの参加の態度、報告内容とレジュメの質、ゼミ論（卒業時に提出）の完成度を総合的に判断する。	
選考方法・履修上の注意		参考書：その都度指定する。 履修上の注意： 駒場の基本科目(1)について、卒業に必要な単位数を取得済みであること。 かつ、駒場の基本科目(1)の「会計」の単位を取得済みであり、優秀な成績をおさめていること。 論理学や哲学（科学哲学）について、基本的素養を身につけていることが望まれる。 ひとりで読書する習慣が身につけていることが求められる。読書量が多く要求されることに注意。 その他： 申し込み書類：下記をワープロで入力、A4 用紙に印刷のうえ提出すること。 ①自己紹介および自己分析（1,000 字程度） ②本ゼミの志望理由と将来の志望進路（1,000 字程度） 選考方法：書類審査および面接による。なお、駒場の基本科目の成績を重視する。 新規参加人員：4～6 名。 2020 年度以降の開講予定：開講する。					

時間割コード：0704658		担当教員：谷本 雅之		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（谷本） 演習テーマ：経済発展と資本主義 授業の目標、概要：共通テーマと参加者個々人の自主研究の二本立てで運営する。本年は、長期の経済発展過程を扱った近年の文献を読み解く中で、現代の世界経済における「資本主義」の立ち位置を考える。 授業計画：夏学期は、おもに共通テーマを巡って、テキストを輪読する。冬学期は、おもに参加者が自己の研究テーマを設定し、研究発表を行う。4 年生は、自主研究をもとに卒業論文の執筆を目指し、3 年生はゼミ論を提出する。 授業の方法：演習形式による。					
テキスト		教科書：マーク・コヤマほか『「経済成長」の起源』（草思社）、ベッカート『綿の帝国』（紀伊国屋書店）、ピケティ『資本とイデオロギー』（みすず書房）等を考えているが、開講時に参加者とも相談の上、指示する。 参考書：開講時に指示する。		成績評価方法		平常点（演習への参加状況、発表の内容）およびゼミ論による。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：参加者は、出席と発表、および討論への参加が求められる。原則として欠席、遅刻は認められない。 その他： 選考方法：申込書類による。志望理由とこれまで読んだ経済学や歴史学、その他社会科学関係文献の簡単なリストを A4 用紙 1-2 枚にまとめたものを提出すること。 新規参加人員：5 名程度。 担当教員は 2024 年度をもって定年退職となるので、2025 年度は開講しない。					

時間割コード：0704661		担当教員：大森 裕浩	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1時限)
テーマ	講義題目：演習（大森） 演習テーマ：ベイズ計量経済分析 授業の目標、概要：経済予測の確率的な評価や、分析者の主観的な情報（将来に対する個人的な見通しなど）も必要に応じて組み込むベイズ統計学を用いた計量経済学の方法について学びます。経済データに限定することなく、様々なデータを対象とした最近の分析手法を広く取り上げます。 授業計画： 「Python によるベイズ統計学入門」 第 2 章 ベイズ統計学の基本定理 第 3 章 様々な確率分布を想定したベイズ分析 第 4 章 PyMC によるベイズ分析 第 5 章 時系列データのベイズ分析 第 6 章 マルコフ連鎖モンテカルロ法 「Python ではじめるベイズ機械学習入門」 第 4 章 潜在変数モデル 第 5 章 深層学習モデル 授業の方法：3 年次ではベイズ統計学の基礎的な知識や機械学習について教科書および参考文献を演習形式で基本的には学習していきますが、3 年生の希望にも柔軟に対応します。4 年次では各自の卒業論文に関連する文献の発表を中心に行います。			
	テキスト	教科書： 中妻照雄「Python によるベイズ統計学入門」朝倉書店 2019 年 森賀・木田・須山「Python ではじめるベイズ機械学習入門」講談社 2022 年 参考書： ・小西貞則・越智義道・大森裕浩『計算統計学の方法ーブートストラップ、EM アルゴリズム、MCMC』朝倉書店、2008 年 ・大森裕浩・渡部敏明「ベイズ計量経済学へのいざない～入門から実践へ」経済セミナー 日本評論社 2018 年 第 1 回～第 6 回 ・古澄英男「ベイズ計算統計学」朝倉書店 2015 年	成績評価方法	演習における発表による(100%)。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 募集要項 1.申込書類：所定用紙の他に参加希望の理由を提出（A4 用紙） 2.選考方法：申込書類による 3.新規募集人員： 5～7 名 4.2022 年度以降の開講予定:有			

時間割コード：0704663		担当教員：石原 俊時		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ	講義題目：演習（石原）						
	演習テーマ：福祉国家と福祉社会						
テキスト	授業の目標、概要：現在、日本を含め殆どの先進諸国では社会保障システムの見直しが緊急の課題となっている。従来からの福祉ニーズに加え、人口の高齢化や家族形態の変化、グローバル化などを背景に新たなニーズが次々と出現しているのである。韓国など新興国では、これから社会保障システムを構築する際に新旧双方のニーズに対応するという課題を突きつけられていると言えよう。これらの課題に対応する福祉の担い手として、国家のみならず、地方自治体、企業、自発的団体、家族などの役割が期待されることとなったが、それぞれ問題を抱えているのが実情である。このような問題状況を時間軸（歴史的視点）・空間軸（国際比較）の中に位置づけて把握し、今後進むべき方向性を探ることが演習の課題となる。今年度は、アジア諸国で急速に進展している社会保障体制の構築を、西欧および日本の歴史的経験と対照させつつ、歴史的に位置づけることを試みたい。						
	授業計画：前期は文献の輪読を中心に行う。後期は卒論および個人研究の報告が中心となる。また、福祉や自治体行政の現場の見学およびインタビュー、海外の学生との交流などにも積極的に取り組むこととする。						
	授業の方法：テキストの輪読および個人研究（3年生は個人研究、4年生は卒論）の報告とそれをめぐる討論						
選考方法・履修上の注意	教科書：前期に読むテキストについては、4月のゼミガイダンスまでに決めておく。				成績評価方法	報告内容や議論への参加度を評価の対象とする。特に出席は重視される。	
	参考書：演習の際に適宜指示する。						
履修上の注意	履修上の注意：特になし。						
	その他：選考方法は、申込書類による。自己紹介および参加希望の理由について述べたレポート（書式・枚数自由）を提出してもらう。						

時間割コード：0704664	担当教員：澤田 康幸	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（澤田） 演習テーマ：「経済学と発展途上国 I」 授業の目標、概要：発展途上国の経済を実証的・政策的・実践的に論ずる経済学の一分野、「開発経済学」を扱う。特に最近では、開発政策の効果を正確に計測するための無作為化比較試験（RCT）という手法を用いた政策評価が盛んとなっており、政策と研究が有機的に統合するという「開発経済学の革命」が起こっている。2019 年のノーベル経済学賞は、この「開発経済学の革命」の立役者であるアビジット・バナネルジー教授、エスター・デュフロ教授、マイケル・クレマー教授に授与された。発展途上国の経済・社会を理解するうえで、標準的な経済学がどう役立つのかを学ぶ。 授業計画：中心とする活動は三つある。 途上国データ解析のための基礎・応用学習として、 （１）計量経済学の基礎学習のため入門書を読む。西山・新谷・川口・奥井『計量経済学』（有斐閣、2019）を用いる予定である。 （２）開発経済学への応用方法を学ぶ。Annual Review of Economics や Journal of Economic Perspectives に掲載された展望論文や American Economic Review などに掲載された最近の最近の学術論文をあわせて議論する予定である。 （３）統計分析・数値解析の実践を学ぶ（Stata・R を用いた計量経済学的分析の方法などを考えている） 授業の方法：講義と輪読・討論の組み合わせ		
テキスト	教科書：西山・新谷・川口・奥井『計量経済学』（有斐閣、2019） 参考書：Banerjee, Abhijit and Esther Duflo (2019) Good Economics for Hard Times, Public Affairs (『絶望を希望に変える経済学』村井訳・日本経済新聞出版)	成績評価方法	討論への参加、卒業論文ないしは学期末論文
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：通年の自主ゼミにも参加することが求められる。 その他： 新規参加人員：10-15 名 翌年度以降の開講予定：予定あり 成績表に加え、以下のレポートを提出してください。成績表とレポート・面接を元に選考を行います。 レポート：以下の①②を一つのファイルにまとめて提出してください。 ①入ゼミの志望理由についてまとめたレポート（分量自由） ②Kremer, M., Brannen, C., & Glennerster, R. (2013). The challenge of education and learning in the developing world. Science, 340(6130), 297-300 を読み、クリティカルコメントをまとめる（論文の PDF は大学で入手可能）。 面接：面接前に以下の動画を視聴してください。面接時に動画の内容や感想について質問します。 https://www.ted.com/talks/esther_duflo_social_experiments_to_fight_poverty/transcript?language=en#t-950684 書類提出者を対象に面接を行います。日程調整を行うため、提出された方は sawadasemi.recruit@gmail.com にメールをお願いします。		

時間割コード：0704669		担当教員：松島 斉		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ	講義題目：演習（松島）						
	演習テーマ：ゲーム理論とサステナビリティ（Game Theory and Sustainability）						
	授業の目標、概要：ゲーム理論の中級から上級レベルを教科書の輪読と練習問題に取り組んで理解する。そして、環境問題、社会的厚生、経済発展における持続可能性（サステナビリティ）について、経済学的に考察し、現代の問題にいかに取り組むかを議論する。						
	(We study intermediate to advanced level game theory through textbook roundtable discussions and practice problems to understand it. Then, we consider environmental issues, social welfare, and sustainability in economic development from an economic standpoint, and discuss how to tackle contemporary problems.)						
	授業計画：S セメスターにおいてはミクロ経済学教科書の主にゲーム理論のパートを輪読し、練習問題を解答する。A セメスターでは気候変動問題についての文献を輪読し、ゲーム理論の応用を検討する。						
テキスト	(In the S semester, we focus on reading and discussing the game theory part of the microeconomics textbook and solving practice problems. In the A semester, we read literature on climate change issues and consider the application of game theory.)						
	授業の方法：教科書と文献の輪読。参加学生に分担し、担当者はスライドを作成して、レクチャーし、質疑応答する。練習問題を参加者で分担し、担当者はスライドを作成して解答し、質疑応答する。ChatGPT を共同で活用し、特に倫理、政治、法、環境問題に関する非経済学的事実や概念について、知識を獲得し、経済学的な分析に関連付ける。						
	(Roundtable discussions of textbooks and literature. Students will be assigned specific sections, and those in charge will create slides, deliver lectures, and engage in question-and-answer sessions. Practice problems will be divided among participants, with those responsible creating slides to present solutions and facilitate Q&A sessions. We will collaboratively utilize ChatGPT, particularly for acquiring knowledge about non-economic facts and concepts related to ethics, politics, law, and environmental issues, and relating them to economic analysis.)						
	教科書： Osborne and Rubinstein “Models in Microeconomic Theory”2020		成績評価方法	出席、報告回数、報告内容、質疑応答の積極性、質疑応答の内容などから、担当教員の裁量的判断をする。			
	参考書： Cramton et al, “Global Carbon Pricing”2017			(Attendance, frequency of reports, content of reports, enthusiasm in question-and-answer sessions, and the quality of contributions in Q&A will be evaluated at the discretion of the instructor.)			
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 日本語でおこなう 欠席は原則厳禁 準備に時間がとられるので、他の演習などの参加を考える場合には負担をよく考えること						

時間割コード：0704673		担当教員：青木 浩介		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（青木） 演習テーマ：マクロ経済学 理論と実際 授業の目標、概要：ゼミの目標は、自分で経済分析ができるようになることである。そのため、マクロ経済分析の枠組みと最新のマクロ理論を演習形式で身につける。また、それらを用いて各自の興味のある経済現象を分析し発表する。分析・発表する経済現象はマクロ経済現象である必要はない。ディスカッションの仕方や発表の技法についても指導をする。 授業計画：本年度の具体的なテーマは開講時に参加者と相談して決定する。 授業の方法：演習形式					
テキスト		教科書：本年度の具体的な参考書は開講時に参加者と相談して決定する。 参考書：本年度の具体的なテーマは開講時に参加者と相談して決定する。		成績評価方法		ゼミ参加時の貢献	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：特になし その他：説明会で詳しく話しますが、募集は以下の通りです。 *募集人数 10 名程度 *2 次募集は必ず行う *学部所定の書類、成績表 *興味を持っている経済問題、今までに読んだ本や講義で印象に残ったこと、卒業後の目標などを 2000-3000 字程度にまとめたエッセイ *面接（zoom もしくは対面による面接）					

時間割コード：0704674		担当教員：林 正義		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時間)	
テーマ		講義題目：演習（林） 演習テーマ：財政制度の経済分析: 理論と実際 授業の目標、概要：日本の財政制度や政府間関係（地方財政）について理解を深めると共に、財政の経済理論や実証分析について学習をすすめる。 授業計画：S1S2 では指定された教科書（複数）を輪読し、時間がゆるせば計量経済学の基礎も学習する予定。A1A2 では関連する学術論文を輪読する予定。 授業の方法：演習形式（レジュメ作成、それに基づいた発表、および、演習参加者全員による議論）					
テキスト		教科書：財政学等の標準的な教科書（後ほど決定）→現在、執筆している私の教科書の原稿を利用することも考えています（予定） 参考書：随時指示します。			成績評価方法	演習参加（発表提出物、発表の工夫、発表者への質問、議論への参加）、および、レポート（予定）	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：時間の厳守と出席，授業参加を重視します。					

時間割コード：0704675		担当教員：桑嶋 健一		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：演習（桑嶋） 演習テーマ：経営戦略とイノベーション 授業の目標、概要：この演習では、社会や企業で活躍する上で不可欠な論理的思考、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力、文章執筆力、および経営学の基礎知識を身につけることを目標とする。扱うテーマは、経営戦略、経営組織、イノベーションマネジメント、技術経営、製品開発マネジメントなど。 授業計画： 前半：1. 基本文献の輪読、2. 卒論テーマ発表・中間発表、3. ゼミ論テーマ発表・中間発表、4. ゲスト発表、 後半：1. 専門書・学術論文の輪読、2. 卒論中間発表・最終発表、3. ゼミ論中間発表・最終発表、4. ゲスト発表 授業の方法：グループ討議中心					
テキスト		教科書：ゼミ生と相談の上、決定する。 参考書：随時紹介する。		成績評価方法		平常点による。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： ○選考方法：提出書類と面接による。参加希望者は以下の3点について、A4で2ページ程度にまとめて応募書類と一緒に事務に提出すること。 （1）自己紹介 （2）志望理由 （3）その他（卒論・ゼミ論で取り組んでみたいテーマ、関心があることなど何でも可） ○募集人数：7名程度（2年間の継続参加を原則とする）					

時間割コード：0704676		担当教員：渡辺 努		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（渡辺努） 演習テーマ：「物価と金融政策」 授業の目標、概要：この演習の目的は物価と金融政策に関する基礎的な知見を身に着けることです。 授業計画：この演習では、物価と金融政策に関するこれまでの知見（理論モデル，実証手法，実証結果）を討論形式で批判的に検討する作業を行います。その作業を通じて，日本経済や世界経済の動きを正確に理解し，自分の言葉で説明するスキルを身につけることを目指します。春学期はテキストや論文の輪読，ディベートなどを行います。秋学期は，3年生については3人程度のチームでゼミ論文を作成し報告をしてもらいます。4年生は卒論の執筆・報告を行います。 授業の方法：テキスト・論文の輪読，ディベート，研究報告					
テキスト		教科書：適宜指定。 参考書：適宜指定。		成績評価方法		出席，研究報告，討議への貢献をもとに評価する。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：専門科目1（駒場開講科目）のうち「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「統計」を履修していることが望ましい。 その他：学部所定の用紙を提出する。また，（1）ゼミへの参加を希望する理由，（2）ゼミでの研究テーマとして現時点で考えていることを記述したレポート（A4 サイズ3枚以内）を提出する。					

時間割コード：0704679		担当教員：米山 正樹		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（米山） 演習テーマ：会計基準を支える基礎概念の分析 授業の目標、概要：(a)企業の会計行動や(b)基準設定主体による会計基準の新設・改廃といった、会計現象の間にみられる因果関係の解明を目指す。そのための手段として、会計基準を支えている基礎概念に関する理解を深める。 授業計画：多くの履修生が「唯一の正解」を引き出すような学習スタイルに慣れていると考えられることから、前提次第で回答が多岐に分かれうる問題を提供し、その解決を参加者全員で図る。議論の素材は指導教員が提供することもあれば、講読するテキストの中から見出すこともある。 授業の方法：討論を通じて、参加者自身が主体的に問題の解決を図れるように指導する。担当教員は、基本的に、mentor としての役割を果たすことに終始する。					
テキスト		教科書：参加者と相談のうえ決定する。受験参考書などではなく、財務会計分野の専門書や研究書の中から適宜選定する。 参考書：開講時に適宜指示する。		成績評価方法		演習への参加態度や報告内容を総合的に勘案する。4年生については卒業論文の提出状況と提出された論文の質も考慮する。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 〔演習募集に際して提出を求める書類〕 (1)自己紹介、(2)本演習の志望理由、(3)現在関心を持っている会計問題（可能であれば、その問題を解決するためにみずから行ってきた取り組みにも言及されたい）の3点を取りまとめたレポートを提出のこと。全体で2,000字をおおよその目安とするが、字数は応募者の裁量に委ねる。 〔選考方法〕 申込書類による。面接を行うかどうかは、開講時点の感染状況に応じて決定する（現時点では未定である）。なお駒場で開設されている基本科目の成績が芳しくない場合は、その原因に関する自己分析を求める。 〔新規参加人員〕5名または6名を上限とするが、応募人数次第で弾力的に対応する。 〔2024年度以降の開講予定〕開講する予定である。					

時間割コード：0704680		担当教員：佐藤 整尚		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（佐藤整尚） 演習テーマ：ファイナンスのためのプログラミング 授業の目標、概要：ファイナンスの理論や実証の研究において必要な数値計算手法やプログラミング手法を習得することを目的とする。本や論文を読むだけではなく、Python 等を使って実際に動かせるプログラムを完成させることを目指す。また、チームに分かれて、共同開発の実際を体験する。 授業計画：受講者と相談上決める。 授業の方法：学生の発表を中心とする。					
テキスト		教科書：未定 参考書：適宜指示する。			成績評価方法	発表内容および成果物	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：プログラミングについては能力は問わないが、これからそれを学ぶ意欲が必要である。 また、何らかの計算環境が必要である。 なお、4 年生に対してはアクチュアリー志望での受講を認める。					

時間割コード：0704681		担当教員：城山 智子		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（城山） 演習テーマ：アジア経済史 授業の目標、概要：アジアには、世界の大きな割合を占める人口が居住している。また、数十年来、高い経済成長を達成した国・地域が次々と出現し、大きな注目を集めてきた。しかし、アジア域内の自然地理、社会制度、政治体制は多様であり、それぞれの経済発展の径路あるいはその失敗の原因は多様であった。本ゼミナールでは、そうしたアジア経済の長期的展開に考察を加えていく。担当教員の専門分野である中国経済史は、比較の軸として重視されるが、対象とする地域は必ずしも中国に限定されない。また、アジア域内の国や地域の総和ではなく、アジア全体を検討し得るような、分析手法や枠組み、理論についても議論する。 授業計画：アジア経済・経済史に関係する論文・著書を輪読し、内容について議論する。 授業の方法：輪読と討論					
テキスト		教科書：授業中に指示する。 参考書：授業中に指示する。			成績評価方法	レポート	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：令和4年度の応募に際しては、 1,応募の動機 2. ①あなたの読書の中から、おすすめの本を一冊あげて、②なぜ、私＝城山が、それを読むと良いのか、教えてください。 1と2「それぞれ」A4用紙一枚程度にまとめて提出すること。 その他：特になし。					

時間割コード：0704683		担当教員：大橋 弘		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)			
テーマ		講義題目：演習（大橋） 演習テーマ：産業組織と経済政策 授業の目標、概要：この演習では、「産業組織論」というミクロ経済学の応用分野を入り口として、足元で起きている経済・社会事象をより深く理解することを目指しています。消費者行動や企業戦略等を議論するだけでなく、公益性の観点から政策的な話題にも議論の射程を広げます。また経済を多角的に分析・理解するうえで、実証的な視点は欠かせません。単に既存の理論を当てはめるのではなく、仮説構築と検証を繰り返しながら、自らの頭で経済現象を把握し、更には社会問題の解決に向けた検討ができる能力を育てられればと思っています。 授業計画：前期は、輪読とともに、時事的なテーマを取り上げて、それに基づくディスカッションを行います。後期は、引き続き時事的なテーマについての討論を行うと共に、卒業論文やゼミ論に向けての進捗報告等を行います。 授業の方法：報告とディスカッションが中心になります							
テキスト		教科書：参加者と相談して決定します。 参考書：参加者と相談して決定します。				成績評価方法		出席・討論への貢献、3年時には少人数のグループでのゼミ論文の提出、4年時については卒業論文の提出となります。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：学部所定の書類を提出して下さい。また志望理由書として以下の3点についてまとめて提出して下さい。（1）自己紹介（500字程度）、（2）自分が興味を持っている経済的なトピックスについて（1000字程度。但し、自身の考えも踏まえて記して下さい）、（3）これまで熱中してきたこと（750字程度） 留意点：志望理由書を経済学部指定の方式で提出するとともに、以下のフォームにも提出してください。経済学部への提出と、以下のフォームへの回答を持って応募を完了したものとみなします。 https:// 選考方法：上記書類に基づく面接を行います。 新規参加人員：15名程度 2025年度も開講予定							

時間割コード：0704684		担当教員：首藤 昭信	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（首藤） 演習テーマ：財務諸表分析と企業評価 授業の目標、概要：基本的な財務諸表分析の知識を習得した上で、会計情報が利用される具体的なケースを想定した高度な企業評価の方法を探究する。具体的には、財務諸表分析を単なる比率の暗記と捉えるのではなく、経済理論やファイナンス理論にもとづいて、株式投資といった投資戦略や銀行融資契約といった契約の効率性を高める会計情報の活用について習得する。そのために、現代の会計学研究で蓄積されている知見と手法の習得を目指す。最終的には実証的なアプローチにもとづくゼミ論（卒業時に提出）の執筆を目指す。 ※卒業論文の執筆は必須となる点に注意してください。 授業計画：3 年生は、財務諸表分析に関する基本的なテキストまたは学術論文の輪読を行う。受講者が順番で担当部分のレジュメを作成し、プレゼンテーションを行う。また、その知識にもとづいて、学外の株式投資コンテスト（日経 STOCK リーグ）への参加を行う。4 年生は、卒業論文の執筆にむけて各自の研究テーマにもとづく報告を行う。 授業の方法：受講者の報告をベースにして、受講者間の討論がクラスの課題となる。必要に応じて教員が補足説明を行う。			
	テキスト	教科書：受講者として相談して決める。なお本演習の内容は、会計の資格試験の内容とは大きく異なるため、受験参考書を用いることはない。 参考書：受講者として相談して決める。	成績評価方法	担当者のプレゼンテーションの内容、またはクラスの議論への貢献度合い等を総合的に勘案して評価する。4 年生は、ゼミ論の完成度が中心的な評価対象となる。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 〔申込書類〕（1）自己紹介 （2）本演習の志望理由 （3）将来の志望進路 以上の 3 点をまとめたレポートを提出する（枚数および書式は自由）。 〔選考方法〕書類審査および面接による。 ※申込申請した者は、面接の日時を伝えるため首藤まですぐにメール（shuto@e.u-tokyo.ac.jp）を出すこと。 〔新規募集人員〕10 名程度 〔翌年度以降の開講予定の有無〕 ・2024 年度の S1S2 タームは、担当教員はサバティカルになります。現在はゼミは開講予定ですが、当該期間は、講義形態が変わる（オンライン or 集中講義）可能性があることをご了承ください。 その他：会計学に関心がある多くの学生は、資格試験の取得に関心があると思います。しかし会計学は欧米のビジネス・スクールで主要な戦略科目として位置づけられており、金融や会計実務への応用可能性が非常に高い学問です。会計学の知識取得を資格取得の手段とするのではなく、資格取得後の自分をイメージして、本演習で会計学の可能性を探究してください。また大学院への進学希望者も歓迎します。			

時間割コード：0704687		担当教員：佐藤 泰裕		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)			
テーマ		講義題目：演習（佐藤泰裕） 演習テーマ：都市・地域経済学 授業の目標、概要：経済学の応用分野としての都市経済学・地域経済学について学ぶことを目的とする。具体的には、人口移動・都市集積のメカニズム、都市構造の分析、企業立地、地方自治体の政策分析などを学習し、議論を行う。 授業計画：今年度は、まず、都市・地域経済学の入門の教科書を輪読し、基礎的な知識について学ぶ。その後、理論分析の基礎的な手法、および、そこから実証分析につなげる手法を学び、それらを実際に使って分析を行う。より具体的には、土地などの価格から、近隣環境など目に見えないものの価値を測るのに使われるヘドニック・アプローチなどの理論的基礎、GIS（Geographic Information System）によるデータ可視化の基礎、Rを用いた回帰分析などを学び、それらを用いてグループ研究を行うことを予定している。 授業の方法：文献の輪読およびその内容を利用した分析を行う。輪読に際しては複数名報告担当者を決め、輪読文献の内容報告や議論のための調査報告を分担してもらう予定である。分析に際してはグループで作業をしてもらう予定である。							
テキスト		教科書：都市・地域経済学の入門の教科書は例えば 佐藤泰裕（2023）「都市・地域経済学への招待状（新版）」有斐閣ストゥディア。などを、その後の教科書としては例えば 金本良嗣・藤原徹（2016）「都市経済学(第2版)」東洋経済。 谷謙二（2018）「フリーGIS ソフト MANDARA10 入門」古今書院。星野匡郎・田中久稔（2016）「R による実証分析 一回帰分析から因果分析へ」オーム社。などを用いる予定である。 参考書：適宜指示する。				成績評価方法	報告、平常点、および、レポートを総合的に評価する。		
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的な知識は前提とする。これらの基礎科目の単位を修得しているか、そうでなければ当該演習と並行してそれらを履修することを推奨する。 申込書類：志望者は志望動機を A4 で 1 枚にまとめて提出すること。 選考方法：申込書類と面接。 新規募集人員：10～15 名。 2025 年度も開講予定である。							

時間割コード：0704688		担当教員：植田 健一		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（植田） 演習テーマ：マクロ経済と金融: 理論と実務 授業の目標、概要：マクロ経済と金融システム、国際金融に関する様々な理論や実証研究を学習するとともに、それらを基に現実の問題を考察し議論する能力を養うことを目指す。 授業計画：参加者と相談の上決定する。 授業の方法：教科書の輪読とそれに基づいた議論と、小グループでのゼミ論の発表とそれに基づいた議論をします。					
テキスト		教科書：参加者と相談して決定する。ただし英語の本となる。 参考書：同上			成績評価方法	ゼミへの貢献度で判断。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：参加希望者は、金融、国際経済またはマクロ経済について興味を持った問題について、自分なりに分析した結果を短い文章にまとめ、自己紹介とともに提出のこと。 (募集人員、1次募集10名程度、2次募集はかなり例外) その他：欠席は事前に理由とともに知らせること。積極的に議論に参加すること。					

時間割コード：0704692		担当教員：山口 慎太郎	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（山口） 演習テーマ：実証ミクロ経済学演習 授業の目標、概要：実証ミクロ経済学、データ分析の手法を学び、実社会のデータに応用することで社会問題の理解と解決を目指します。主な応用分野は、教育政策、子ども・子育て支援政策、労働市場政策、企業における人事制度ですが、その他幅広く公共政策の評価、労働市場分析なども扱います。 ミクロ経済学、計量経済学の知識を学ぶだけでなく、それらを自身の問題関心に合わせて活用できるようになることが目標です。また、自身の考えを効果的に伝えるためのプレゼンテーション技術、レポート・論文執筆能力を身につけることも目指します。 授業計画：本年度は以下のような方針で演習をすすめます。 S タームは計量経済学の基本的な手法と、それらの社会科学上の応用について学びます。具体的には『因果推論入門～ミックステップ：基礎から現代的アプローチまで』の輪読を行います。小グループごとに発表を行い、適宜、ゼミ生と教員が質問・コメントをします。また、S ターム終盤では『経済論文の書き方』、『大学生のための経済学の実証分析』を題材に経済学における実証研究の進め方や、分析に使うデータなどについて学びます。 なお、経済の実証分析において必須となるプログラミングについては、S ターム中のサブゼミで”R for data science (2e)”を題材に実習を行います。 A タームでは、身に付けた計量経済学の手法を実際のデータに応用して、記述的分析や政策評価を行います。これは個人、あるいはチーム（3-4 人）で行います。チームは3, 4 年生とも交えたものとなるのが通例です。自分たちでテーマを設定してもらいますが、過去には、「幼児教育の効果」、「文理選択の男女差」、「東京オリンピックの労働市場への影響評価」、「プロスポーツに見られる生まれ月の影響」、「介護・延命治療の効果測定」、「GoTo トラベルの政策評価」、「自然災害リスクが地価に及ぼす影響」など様々な問題に取り組んでいました。 授業の方法：上記参照			
	テキスト	教科書：Scott Cunningham、『因果推論入門～ミックステップ：基礎から現代的アプローチまで』、技術評論社、2023 経済セミナー編集部、『経済論文の書き方』、日本評論社、2022 参考書：千田亮吉ほか、『大学生のための経済学の実証分析』、日本評論社、2023 伊藤公一朗、『データ分析の力』、光文社新書、2017 西山慶彦、『計量経済学』、有斐閣、2019 川口大司、『労働経済学』、有斐閣、2017 山口慎太郎、『「家族の幸せ」の経済学』、光文社新書、2019 山口慎太郎、『子育て支援の経済学』、日本評論社、2021	成績評価方法	出席、討論への貢献、発表、レポート、論文
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： <申込書類>学部指定のものに加え、エッセイを提出してもらいます。書式は自由ですが、分量は 2-3 ページが適当です。以下の内容を含めてください。 ●氏名（読みもひらがなで） ●所属学部、学年 ●連絡用メールアドレス ●簡単な自己紹介 ●いま興味を持っている社会・経済現象 ●将来のキャリアプラン			

	●本演習参加希望の理由 ●その他、担当教員に伝えたいこと、アピールしたいこと（自由に追加して良い） ＜選考方法＞原則、書類のみで選考を行います。エッセイの内容を重視しているので力を入れて書いてください。必要と判断した場合には面接を行うことがあります。 ＜募集人数＞全体で 20 名程度。 ＜来年度以降の開講予定＞あり。 ＜卒論について＞卒論執筆は来年度より必須とします。3 年生の方は特に注意してください。 ＜その他＞他学部の学生の参加も歓迎します。他学部から参加希望する場合は、事前に担当教員に連絡を取ってください。 その他： サブゼミへの参加を推奨します。ゼミの時間は限られているため、必要な計量経済学とプログラミングの知識を獲得するために、ぜひ参加してください。具体的な運営方法は参加者に決めてもらいますが、ゼミの担当教員が適宜学習上のアドバイスを行います。
--	---

時間割コード：0704693		担当教員：古澤 泰治		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（古澤） 演習テーマ：International Economics 授業の目標、概要：Through this seminar, students are expected to master core theories of international trade and finance, learn how to test the theories with data, and apply such theories and empirical findings to real economic issues. Students are also expected to learn presentation skills in English. 授業計画：Students will read and present chapters of the textbook while occasionally presenting papers of their interest published in academic journals. 授業の方法：Students will present chapters and papers and discuss covered materials and related issues in reality. Students will also engage in group research and present it in inter-university workshops.					
テキスト		教科書：Krugman, Paul R., Maurice Obstfeld, and Marc J. Melitz, International Economics: Theory and Policy, Pearson. 参考書：古沢泰治著『国際経済学入門』新世社		成績評価方法	Grades are based on the performances in the classes. Active performances are expected.		
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： Please submit a statement of purpose (1 or 2 pages) written in English, together with the transcript. Selection will be based on those and the performance in the interview. A maximum of 10 students will be selected. Senior (4th year) students are required to submit a senior thesis.					

時間割コード：0704694		担当教員：藤井 優成	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1時限)
テーマ	講義題目：演習（藤井） 授業の目標、概要：参加決定者と相談して、以下のトピックからひとつを選んで学習する。 (a)：派生商品価格評価を中心とした金融工学（講義「デリバティブ」の内容） (b)：資産価格形成理論（ごく初歩的な最適化や均衡の議論を含む） (c)：Stochastic Integral, SDE, BSDE, FBSDE などの数学を中心とした学習。 次年度以降に優秀な学生が継続履修した場合は、(c)の内容を概観した後、 (d)：確率的最適制御、確率的連続時間ゲーム、平均場ゲーム理論等の発展的な内容に進む。 なお、(b)はエージェント達が合理的で最適に行動する環境において、需要と供給が一致するような資産価格を構成し、その均衡価格と観測可能量（合計消費とか）との関係を研究する分野です。(d)に関して、確率的最適制御とは、確率的不確定下での最適制御であり、応用は証券投資や消費、企業のビジネス活動をはじめ、エンジニアリングや自然科学など現実世界のあらゆる活動に及びます。このとき、行動を最適化しようとするエージェントが複数存在しその間に競争等の相互作用がある場合にはゲーム理論が登場しますが、ここでは確率的不確定下かつ連続時間の設定に興味があります。さらにエージェントの多人数極限をとったものが平均場ゲーム理論で、多人数の競争均衡、あるいは、プリンシパルによる多人数の最適制御を研究する分野になります。 授業計画：最初に講義「デリバティブ」のスライドや適当なテキストを用いて、確率過程、確率微分方程式、伊藤の公式など初歩的なツールの「使用方法」を学んだ後、選択したトピックに基づいて専門書を輪読する。 理解を定着させる為、本演習参加者は、「デリバティブ」と「上級デリバティブ演習 I」の履修を強く推奨する。 授業の方法：輪読。各自が教材を読み込み、黒板で発表する。			
	テキスト	教科書：概要に挙げたトピック(a, b, c, d)に対して代表的なものをいくつかあげると： Arbitrage Theory in Continuous Time, by Bjork (a) Stochastic Calculus for Finance II, by Shreve (a) Financial Asset Pricing Theory, by Munk (b) Asset Pricing and Portfolio Choice Theory, by Back (b) Methods of Mathematical Finance, by Karatzas and Shreve (a, b, d) Probability Theory: A Comprehensive Course, by Klenke (c) Stochastic Differential Equations, BSDEs, PDEs, by Pardoux and Rascanu (c) Backward Stochastic Differential Equations, by Zhang (c) Probability Theory of Mean Field Games with Applications (I, II), by Carmona and Delarue (c, d) 注意：(c, d)の専門書には非常に高度なものも含まれます。それらに関しては、院生時に読みこなせるようになることを目標にすれば良いでしょう。 参考書：教科書の項目にあげたもの以外に、「関数解析」では測度・積分論、種々の関数空間や対応する収束概念を扱います。これらは非常に強力で、しばしば重要な定理の証明を理解するのに不可欠な道具になります。メインテーマのテキストと合わせて少しずつでも学習していくと良いと思います。 実解析入門, by 猪狩惺		
		成績評価方法	評価の高い方から A. 聴き手の理解に過不足ない内容を正確・簡潔に説明し、質問にも正確に答えられる。準備段階で残った疑問点について十分に考察・調査した上で自分なりの提案を行える。 B. 深い理解に努め、内容を正確に説明できる。自分の無理解に敏感・誠実であり、多くの疑問点が残るもののそれら疑問点について皆に説明し共有できる。 C. 文字通り「読んだ」内容をそのまま発表する。理解できていないことに自分では気付くことが出来ない、あるいは、気づいていてもただ「日本語訳」だけして素通りする。 C は単なる読書であり問題外。少なくとも B を基本として A を目指してください。	

	Functional Analysis for the Applied Science, by Morosanu Functional Analysis, Sobolev Spaces and Partial Differential Equations, by Brezis		
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：予習・復習と共に、多変数関数の微分・積分、ベクトル・行列の扱い等、大学生らしい基礎的数学能力は不可欠です。今欠けている人は演習書を用いて学習を開始して下さい。「興味の湧いた講義を色々履修してきたけれど、とくに何かが身に付いている訳ではない」という状態では、社会に出れば大学名しか残りません。能力に差がないなら「明るく爽やかなイメージ」を持たれる他大学の人達が企業でより好まれるのも頷けます。学部後期課程を始めるにあたり、将来、社会に出るにしろアカデミアを目指すにしろ、自分の強みとなる「専門」に何を選び、それをどう育てていくかじっくり考える必要があるでしょう。そして、もしそれが金融市場はじめ社会の数理モデリングや分析であったなら、東京大学が総合大学である利点を十分に活用した効果的な学習・履修計画を建てた上で、この演習もその中のひとつに組み込んでくれたら嬉しいです。 申し込み書類：学部所定の申込書類に加え、以下を提出。 (1) 駒場及び学部の成績表。 (2) 簡単な自己紹介、今後の学習計画を（A4）1枚程度にまとめて提出。 (3) 募集人数：少人数 来年度以降も開講予定。 注意（重要）：私の好みと能力の制約から、数理的に一般論を理解することに重点をおき、数値計算は基本的に扱いません。これは個々人で「好み」が大きく別れるポイントです。たとえば、現象を支配する理論的な枠組みやその構築への興味よりも、機械学習等でとりあえず振る舞いを再現してみたいという人は、この演習にはたぶん向きません。 その他：卒業論文は要求しません。		

時間割コード：0704697		担当教員：新谷 元嗣		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（新谷） 演習テーマ：マクロ経済分析と機械学習 授業の目標、概要：マクロ経済データの予測や分析を様々な手法で実践し、結果を経済学的に解釈する能力を習得する。 授業計画：本演習では、GDP、物価、株価、為替レート等の時系列経済変数の動きを予測するためのデータ処理と分析手法を学ぶ。特に機械学習的な手法を実践するためにプログラミング言語 Python の使用を予定している。 授業の方法：講義・輪読・討論					
テキスト		教科書：新谷元嗣・前橋昂平「Python によるマクロ経済予測入門」朝倉書店 2022 年 西山慶彦・新谷元嗣・川口大司・奥井亮「計量経済学」有斐閣 2019 年 参考書：ウォルター・エンダース・新谷 元嗣・藪 友良「実証のための計量時系列分析」有斐閣 2019 年			成績評価方法	報告・討論・学期末のレポート	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 基本的に毎回の出席は必須。やむを得ない事情で欠席する場合は事前に許可をとること。また専門科目 1（駒場開講科目）のうち「マクロ経済学」「統計」を履修していることが望ましい。					

時間割コード：0704698		担当教員：星 岳雄		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ	講義題目：演習（星） 演習テーマ：日本の経済と経済政策 授業の目標、概要：日本経済、経済政策に関するいくつかの研究テーマを設定し、共同研究を行う。 授業計画：いくつかの研究テーマについての研究グループを作り、研究に取り組む。1 学期につき、各グループ一つの研究プロジェクトを完了したい。関連の専門家を招いて、随時講演してもらう。 授業の方法：ゼミ生のグループ・プロジェクトの計画発表、中間発表、最終発表を中心に、ゲスト・スピーカーの講演も交える。						
テキスト	教科書：随時指定する 参考書：随時指定する				成績評価方法	研究プロジェクトのレポート、ゼミへの積極的参加などによる。	
選考方法・履修上の注意	選考方法：簡単な自己紹介と現在関心を持っている経済問題について書いたもの（A4 紙 1 ページ程度）を提出すること。そのうえ、面接によって選考する。 履修上の注意：実際の研究はゼミの時間以外に行うことになるので、研究のために十分な時間がとれることが必要。また、研究は 3, 4 人のグループ単位で行うので、グループ・メンバーとの協調が必要になる。ゼミの時間帯は、自分のグループの研究だけではなく、他のグループの研究にコメント・助言するなど、積極的に参加すること。						

時間割コード：0704911		担当教員：小島 庸平		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（小島庸平） 演習テーマ：暮らしの中の日本経済史 授業の目標、概要：私達の身近な暮らしの中にも、必ず歴史がある。このゼミでは、メディア・旅行・音楽・レジャー・スポーツなど、従来の経済史の研究対象とはなにくかったものも、積極的に取り上げてきた。本年度も、ゼミ参加者の希望する経済史に関わる文献の輪読と、卒業論文の執筆に向けた個人研究報告を行う。 授業計画：テキストの輪読と参加者の個人研究報告を交互に行う。詳細は履修者数を見て判断する。全員が卒業論文を執筆するのが望ましい。 授業の方法：ゼミ形式による。					
テキスト		教科書：参加者と相談の上、決定する。 参考書：演習中に適宜指示する。			成績評価方法	演習への参加状況による。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：演習中、必ず一度は発言すること。 その他：4 年次からの参加も妨げない。履修を希望する者は、これまでに読んだ経済学・経済史・歴史学に関わる書籍の中で特に印象的だったものを 1-3 冊選び、その魅力を紹介するレポート（3,000-4,000 字）をメールで提出すること。					

時間割コード：0704912		担当教員：白谷 健一郎		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ		講義題目：演習（白谷） 演習テーマ：金融商品の価格とリスクの推定 授業の目標、概要：さまざまな金融商品の価格やリスクを推定できるようになることを目標とする 授業計画：Implementing Models in Quantitative Finance - Methods and Cases という本を輪読し、プログラムを作成する 授業の方法：受講者による発表					
テキスト		教科書：Fusai, Gianluca, and Andrea Roncoroni. Implementing models in quantitative finance: methods and cases. Springer Science & Business Media, 2007. (大学の Wifi 経由でダウンロード可能) 参考書：適宜紹介する			成績評価方法	発表	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： S1S2 に開講されるデリバティブ（藤井優成先生）の授業を履修すること A1A2 に開講されるファイナンスのための確率 II（大学院向けの授業）の聴講を推奨する					

時間割コード：0704913	担当教員：大木 清弘	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1時限)
テーマ	講義題目：演習（大木） 演習テーマ：国際経営を中心とした経営学研究 授業の目標、概要：本ゼミナールでは、経営学の視点から現実を観察し、分析する能力を身に付けることを目指す。そのために、三年時は数人のグループに分かれた研究活動を行う。研究活動を通じて、既存研究および方法論を学んでいく。具体的には、各自が設定した研究テーマの最新の学術研究、現実の企業の状況、および定性・定量分析の手法を、実践の中で学んでいく。また、研究成果は論文文化して外部で発表する予定のため、論文のライティングスキル、およびプレゼンテーションスキルも身に付けていく。さらに、グループワークが中心になるため、プロジェクト経験からの学びも得ていく。 四年時は、三年時の経験を踏まえて、自らの興味に合わせて、各々が自律して研究活動を行っていく。一人で研究を進めていく中で、自らの成長のために自律的に行動する姿勢を身に付けてもらう。 本教員はいずれの年次の学生に対しても、メンターとして研究の支援を行う。必要な既存研究の紹介、方法論の紹介、研究内容のアドバイス、現実の企業の実態の説明など、学生の学びに必要なものを可能な限り補うという立場で、学生を支援する。 なお、研究テーマは、教員の研究テーマである国際経営に関連するものを期待しているが、必ずしも国際経営にとられる必要はない。特に四年時は、自分で主体的にテーマを選び、自らの責任で研究活動をしてもらうことを期待する。 また、上記の研究活動以外に、現実を理解することを重視する。そのため、企業訪問をしたり、ゲストスピーカーを呼んだりして、交流する機会を多数もうける予定である。そうした交流から、現実・現場から学ぶ姿勢を身に付けてくれることを期待する。 授業計画： 【S1S2】第1回 ガイダンス（自己紹介、グループ分け） 第2-3回 テーマ決め 第4-5回 既存研究調査 第6-7回 問題意識の決定 第8-10回 調査設計 第11-12回 プロポーザル準備 第13回 研究プロポーザル 【A1A2】第1回 夏休み活動報告 第2-4回 研究活動 第5-7回 論文執筆 第8-9回 プレゼン練習 第10回 フィードバック 第11-13回 外部との交流 ※2024年12月8日(日)に、下記の学外の研究発表大会に出場する。そのための研究活動である。 http://ibintercollege.org/ 授業の方法：ゼミの時間は学生からの報告と教員を交えた話し合いの時間である。学生と対話しながら、何をすべきかについて議論する。		

テキスト	教科書：別途指定（研究テーマによる） 参考書：別途指定（研究テーマによる）	成績評価方法	授業への出席、授業での発言、プロジェクトでの貢献から評価する。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： ・ゼミの選考では下記の二つの質問に答えた書類を提出してください。 ①A4 2 枚以内で、以下の要素を含めて、自己紹介をしてください。 ・人生でこれまで熱中してきたことや趣味 ・自分の性格 ・将来の長期的な目標や夢 ②A4 1 枚以内で、ゼミの志望理由と、ゼミで勉強したい興味あるテーマを教えてください。 ・いわゆる輪読をするタイプのゼミではなく、プロジェクトを行っていくタイプのゼミです。そのため、授業時間以外でも、メンバー同士で話し合いの時間を取らなければならないことが多々あると思います。経営学に興味がある人で大学卒業までに学術研究っぽいことを一度はやりたい人を歓迎します。また、積極的に研究がしたいわけではないけれども、他にやることがなくて、残りの二年間でなんか集中してやってみたいという人も大歓迎です。 ・英語で論文を読んだり、英語で論文を書いたり、英語でプレゼンテーションしたりします。英語力としては大学入試レベルで全く問題ありません。レベル感については、ガイダンスなどで説明します。苦手意識のある人でも問題ないです。 ・企業人との交流、他大学の学生との交流、OB との交流など、可能な限り様々な機会をもうけます。そういう機会を前向きに捉え、楽しんでもらえる人を歓迎します。		

時間割コード：0704915	担当教員：奥井 亮	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1時限)
テーマ	講義題目：演習（奥井） 授業の目標、概要：経済学における実験データの計量経済学的分析法を学習する。計量経済学の手法を用いて、経済学のフィールドや実験室での実験から得られたデータをどのように分析することができるかを学習する。また統計ソフトの操作を習得する。さらに実験の背景にあるミクロ経済学についての理解を深める。 授業計画：本演習では、経済学実験から得られたデータの分析法を学ぶ。データは既存の実験のものを利用する予定である。輪読と講義により、分析に使用される計量経済学の手法の背景にある理論を学ぶ。データ分析のための統計ソフトの扱いに習熟するために、計算機演習を行う。使用する統計ソフトは参加者と相談して決める。また、輪読において実験の背景にあるミクロ経済学の理論を学習する。ただし、ミクロ経済学の学習は、演習での分析対象となる実験に直接関連するものだけになる予定である。また、演習で扱う実験への理解を深めるのに有用であると参加者が判断するなら、模擬実験を行う可能性もある。ただし、本格的な実験を行う予定はない。 授業の方法：講義、輪読、コンピュータ演習、討論		
テキスト	教科書：経済学のための実験統計学 Peter G. Moffatt (原著), 川越 敏司 (翻訳), 會田 剛史 (翻訳), 小川 一仁 (翻訳), 佐々木 俊一郎 (翻訳), 長江 亮 (翻訳), 山根 承子 (翻訳) 勁草書房 (2018/12/22) 参考書：参加者と相談して決める	成績評価方法	出席、発表、討論への参加 各回一回は発言すること。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：専門科目Ⅰ「統計Ⅰ・Ⅱ」を履修していないと、演習についていくのは難しいと思われる。 <申込書類> 学部所定の申込書類のみ <選考方法> 面接。 <募集人員> 特段の制限はない <来年度以降の開講予定の有無> 有		

時間割コード：0704917		担当教員：山本 浩司	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（山本） 演習テーマ：市場の過去・現在・未来： 歴史的に考えるビジネスと社会、マーケットと幸福、利潤と福祉 授業の目標、概要： ビジネスと経済市場は人びとを幸せにできるのだろうか。それとも、否が応でも性別・職業・教育による格差を生み出し、不正確な情報を売り物にし、特定のマイノリティグループを抑圧し、さらには生活の基盤や生態系そのものをも脅かしてしまうのだろうか。データにもとづいた分析だけでこうした問題を十分に解決することがもしも難しいのだとしたら、質的分析にはどのような役割があるだろうか。そして、東アジアのトップ校の一つともいえる本学に身をおく私たちには、何ができるのだろうか。 本演習では、このような「正しい答えのない問い」に各人が向かいあうために必要な知的な土台を提供したい。そのために事例として特に注目するのが「最初の産業社会」として長らく注目を集めてきたイギリスの歴史である。 以上をふまえ、本演習では日本語および英語の重要文献を正確に読み解き、論点を把握し、背後にある大きな研究動向を理解する。こうした文献読解の作業を通じて、西洋世界における資本主義の史的展開について理解を深め、さらにはビジネスと社会、マーケットと幸福、資本主義と福祉の関係について、歴史的視点から探求をする。最終的には国際的に通用する高いレベルで上記テーマに関係する問題群を歴史的に分析するための土台を提供したい。 授業計画： 扱う文献は、古典的文献では、労働や格差の問題を扱った E.P. Thompson の'Moral Economy of the English Crowd'(1971)や、ジェンダーと経済についての Jane Whittle の研究成果(2019)などを議論したい。ただし、受講者の興味に応じて文化史・社会史・科学史・社会学・人類学などの知見を動員した学際的文献を扱う可能性もある。 開講者の基本的問題関心については、岡崎哲二編『経済史・経営史研究法』有斐閣、2022 年所収の「時代と向き合う西洋経済史」をご確認いただきたい。 授業の方法：ゼミ形式で行う。事前に指示された「論点」を頼りに文献を毎週 1-2 本読んでもらい、論点について順番にプレゼンと Q&A をしてもらおう。ただし、難しいテキストを扱う場合は、受講者がレジュメを準備して発表をする輪読形式を採用する場合もある。			
	テキスト	教科書：なし 参考書：E.H. Carr, What is History (2nd ed., 1987) [originally published in 1961] ・『歴史とは何か』清水幾太郎訳（岩波新書、1962 年） Marc Bloch, The Historian's Craft (1954)[French original 1949] ・マルク・ブロック『歴史のための弁明』松村剛訳（岩波書店、2004 年） John H. Arnold, History: A Very Short Introduction (2000) ・『歴史』新広記訳（岩波書店、2003 年） Georges Duby, History Continues (1994)[French original 1991] ・『歴史は続く』松村剛訳（白水社、1993 年） ピーター・バーク『歴史学と社会理論』慶応大学出版会、2009 年 第 2 版		成績評価方法 出席・プレゼン

選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 申込書類: 学部所定の演習参加書類を提出すること。 選考方法: 面接の上、新規演習参加者を決定する。 募集人員: 5-8 名程度 4 年生からの入ゼミも認める。 担当教員が 2025 年秋学期から 1 年間サバティカル研修で海外滞在のため、26 年 3 月卒の履修者については卒論を必須としない予定。 イギリスの拠点大学などで行われている参加型のディスカッションを採用している。大学にいる間に質的議論のメソッドを身につけたい学生や、大学院進学や交換留学に興味のある学生に履修をお勧めする。
--------------------	---

時間割コード：0704918		担当教員：今泉 飛鳥	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1 時限)
テーマ	講義題目：演習（今泉） 演習テーマ：(分野：日本経済史、2024 年度演習テーマ：経済・社会・技術の史的考察) 授業の目標、概要：日本経済史に関連する文献の輪読と、卒業論文を目標に据えた個人研究を並行して行う。 2024 年度は、技術の進歩・革新と、社会・経済の構造との間のインタラクションを歴史的に考察する。 両者の間の双方向の規定性に着目することで、経済発展における技術の位置づけや、日本経済の歩みとその特徴、日本社会の特質などの理解を深めたい。 こうした取り組みを通して、①日本経済史及び上記テーマについての知見を得るとともに、②学術的な分析・考察を深く読解し、的確な議論ができるようになること、③自分の興味関心の対象を説得的に分析・表現できるようになることを目標とする。 授業計画：文献の輪読を基本とする。総論的な文献と、対象を絞った実証論文の双方を対象とする予定である。 並行して履修者はそれぞれテーマを設定して個人研究に取り組み、適宜行われる研究発表の場で報告を行う。 なお、以上は履修者数等を踏まえ相談しながら決定する。 4 年生は卒業論文を執筆することが望ましい。 授業の方法：演習形式によって行う。 報告を分担しながら指定文献を読み、議論を行うほか、個人研究の報告・議論を行う。			
	テキスト	教科書：演習で取り上げる文献は、書籍や論文を組み合わせる予定であり、講義内で提示し参加者と相談のうえで決定する。 日本経済史分野の演習であるが、現状や諸外国を対象とする文献も必要に応じて取り入れる可能性がある。 現時点では、導入として以下の書籍をイメージしている。 ダロン・アセモグル、サイモン・ジョンソン（鬼澤忍・塩原通緒訳）『技術革新と不平等の 1000 年史』上・下、早川書房、2023 年。 参考書：講義内で適宜提示する。経済史・日本経済史の知識を得たい場合は、以下のような文献がある。 沢井実・谷本雅之『日本経済史 近世から現代まで』有斐閣、2016 年。小野塚知二『経済史 いまを知り、未来を生きるために』有斐閣、2018 年。	成績評価方法	出席及び議論への貢献度、課題の取り組み状況とその内容、講義内容の理解度、を軸に総合的に評価する。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 参加を志望する学生は、学部所定の申請書に以下の文書を添付し、1 ファイルにまとめて提出すること。 ・自己紹介（力を入れて取り組んでいることや興味のある学問分野など）及び志望理由を A4 用紙 2 枚程度にまとめた文書 募集人員： 10 名程度の予定 募集期間中は、教員から連絡を取る可能性があるので、メールをこまめに確認すること。 4 年次からの参加も可能。 2025 年度も開講予定。 その他： 演習形式で行われるため、出席し議論に積極的に参加することがすべての前提となります。 日本経済史に関心を持ち、情報の探索・共有と議論に主体的に参加できる方を歓迎します。			

時間割コード：0704919		担当教員：田中 万里		開講学期：S1S2A1A2		単位数：4 単位 (週1時限)	
テーマ	講義題目：演習（田中） 演習テーマ：企業と労働市場のミクロ実証分析 / Empirical Analysis of Firms and Labor Markets 授業の目標、概要：企業や個人、労働市場に関する経済学の実証研究の成果とデータ分析手法を学び、自分が関心の あるテーマについてミクロデータを用いた実証分析ができるようになることを目標とする。具体的なテーマは開 講時に参加者と相談して決定するが、例として以下のようなものが考えられる：企業生産性の決定要因、人事制 度、個人の働き方、企業の社会的責任、賃金格差、ジェンダー問題、発展途上国の企業や労働市場、など。希望に 応じて、アンケート調査などによりゼミ生が独自にデータを収集する方法も検討する。 授業計画：①データ分析手法を学ぶため計量経済学のテキストを輪読する。②ゼミ生の問題関心に応じていくつ かのトピックを選定し、グループ発表などで先行研究（主に英語の学術論文）を紹介する。③個人もしくはグル ープで研究テーマを決め実証分析を行い発表する。 授業の方法：講義・輪読・発表・討論						
テキスト	教科書：計量経済学の教科書（後日指定） 参考書：随時指定				成績評価方法	出席、議論への参加、報告内容	
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：参加希望者は、成績表に加え、ゼミで勉強したいテーマと本演習参加希望の理由について1～2枚程 度にまとめたレポートを提出すること。必要に応じて面接を行い選考する。 その他：卒業論文の執筆は任意						

時間割コード：0704920	担当教員：藤岡 里圭	開講学期：S1S2A1A2	単位数：4 単位 (週1時間)
テーマ	講義題目：演習（藤岡） 演習テーマ：小売業の発展／Retail Development 授業の目標、概要：第一に、小売業や流通に関する文献の輪読を通して、当該分野の事象を深く理解できるようになること、第二に、毎回の議論を通して、自らの考えを整理し他者へ論理的に伝える力や、他者の意見を理解し全体の議論を発展させる力を養うこと、そして第三に、卒業論文の作成を通して、自ら課題を発見し、その課題を論理的実証的に分析する能力を習得することが本演習の目標である。 授業計画： 【S セメスター】第1回 イントロダクション、第2回～6回 文献輪読、第7回 フィールドワーク、第8回～第12回 文献輪読、第13回 小括 【A セメスター】第1回 資料収集の方法について、第2回～第4回 研究発表、第5回～第8回 文献輪読 第9回 ゲストスピーカーによる報告、第10回～第12回 研究発表、第13回 まとめ 授業の方法：小売業や流通に関する文献を輪読する。毎回、担当者は著者の考えやそれに対する疑問点や論点を整理して発表し、それ以外の受講者は事前に読んだ文献に関する質問やコメントを提示することで議論を進めたい。フィールドワークやゲストスピーカーについては、受講者と相談しながら決定する。また、A セメスターでは、卒業論文に向けた研究発表を求める。		
テキスト	教科書：現在のところ、川邊信雄『日系コンビニエンス・ストアの国際展開－流通近代化を超えて－』（文真堂、2023 年）や石井淳蔵『進化するブランド－オートポイエーシスと中動態の世界－』（碩学舎、2022 年）を考えているが、開講時に受講者と相談のうえ、決定する。 参考書：開講時に指示する。	成績評価方法	討論への参加やプレゼンテーションの内容等を総合的に評価する。
選考方法・履修上の注意	履修上の注意： 募集人員：10 名程度 選考方法：提出された 1500 字程度の志望理由書により選考する。なお、志望理由書には、（１）簡単な自己紹介と（２）どのような演習にしたいかを含めること。		

シラバス（少人数講義）

※ 本冊子の内容は、「UTAS」のシラバスの一部抜粋である。詳細及び最新の内容は「UTAS」を参照すること。また、演習・少人数講義以外の科目のシラバスは、「UTAS」を参照すること。

時間割コード：0704813I		担当教員：久保川 達也（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時間）	
テーマ		講義題目：少人数講義（久保川Ⅰ） 演習テーマ：応用統計(Applied Statistics: Lecture and Practice) 授業の目標、概要：この少人数講義では、数理統計学の知識と能力を前提とした上で、「データ解析のための数理統計入門」の9章から17章までの応用統計の内容を講義し、章末問題の演習を行います。 授業計画：仮説検定と信頼区間、カイ2乗適合度検定、回帰分析、ロジスティック回帰、ベイズ統計、分散分析、ノンパラメトリック統計、多変量解析の順で進める。 授業の方法：一人10題以上の問題を解いて板書し説明してもらいます。今年度は、7月の最後の講義の時間に試験を行い、板書した内容と試験結果に基づいて成績をつけます。2回以上欠席した場合には単位はつきませんので注意してください。					
テキスト		教科書：「データ解析のための数理統計入門」久保川達也（共立出版） 参考書：「現代数理統計学の基礎」久保川達也（共立出版）			成績評価方法	出席回数（2回以上の欠席で不可になります）、板書した回数（10題以上）、演習内容、筆記試験	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 選考方法 原則として次の2つの条件をみたすこととし、人数が多い場合には専門科目1の成績に基づいて選考します。応募者が多数のときには、成績に基づいて選考します。 1）専門科目1の「統計」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」のうち2つ以上の単位を取得済みであること。 2）微分積分と線形代数について一通りの知識をもっていること。 申込書類は、学部指定の用紙を用いる。成績を添付すること。					

時間割コード：0704814E		担当教員：久保川 達也(Ⅱ)		開講学期：S1S2		単位数：2 単位 (週1時限)		
テーマ		講義題目：少人数講義（久保川Ⅱ） 演習テーマ：基礎数学(Fundamental Mathematics) 授業の目標、概要：この少人数講義では、道具としての「数学」を習得して頂くことを目標にして、微分積分・線形代数の基本的な事項を講義し問題演習を行います。 授業計画：関数の連続性、微分可能性、偏微分、極値問題、陰関数の定理、条件付き極値問題、積分、重積分、積分可能性、線形微分方程式、級数の収束、線形代数、ベクトル空間、行列式、固有値、固有ベクトル、2次形式の順に進める。 授業の方法：一人10題以上の問題を解いて板書し説明してもらいます。今年度は、7月の最後の講義の時間に試験を行い、板書した内容と試験結果に基づいて成績をつけます。2回以上欠席した場合には単位はつきませんので注意してください。						
テキスト		教科書：特に指定しません。 参考書：「統計学のための数学入門 30 講」永田靖（朝倉書店） 「基礎微分積分」（改訂版）押川元重、坂口紘治（培風館） 「線形代数講義」石井恵一（日本評論社）			成績評価方法	出席回数（2回以上の欠席で不可になります）、板書した回数（10題以上）、演習内容、筆記試験		
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 選考方法 原則として次の2つの条件をみたすこととし、人数が多い場合には専門科目1の成績に基づいて選考します。応募者が多数のときには、成績に基づいて選考します。 1）専門科目1の「統計」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」のうち2つ以上の単位を取得済みであること。 2）微分積分について一通りの知識をもっていること。 申込書類は、学部指定の用紙を用いる。成績を添付すること。						

時間割コード：0704825T		担当教員：阿部 誠（I）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時間）	
テーマ		講義題目：少人数講義（阿部 I） 演習テーマ：アンケート調査の数量分析 授業の目標、概要：アンケート調査による顧客分析と企業戦略へのインプリケーションを導く。 授業計画： 1 マーケティング・リサーチ 2 アンケート調査 3 サンプルング 4 確率分布 5 記述統計 6 統計的仮説検定 7 回帰分析 8 因子分析 9 その他の分析 Software MS EXCEL 授業の方法：講義、宿題、統計ソフト(R) によるデータ分析、最終プロジェクト 使用するソフト、R コマンダーの使い方は、授業でカバーする。					
テキスト		教科書：特に無し 参考書：『マーケティング・リサーチ入門』星野崇宏・上田雅夫、有斐閣 『マーケティング・リサーチ入門』高田博和、上田隆穂、奥瀬、内田 PHP 研究所 『マーケティング・サイエンス入門』古川一郎、守口剛、阿部誠 有斐閣		成績評価方法		出席、宿題、最終プロジェクト。 期末試験は行わない。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： ●申込書類：特になし ●選考方法：特にないが、事前に参考書に目を通して自分のレベルに適切かを判断の上で履修を決めること。 ●募集人員：10 名程度 ●次年度以降の開講予定の有無： 無					

時間割コード：0704826S		担当教員：阿部 誠（Ⅱ）	開講学期：A1A2	単位数：2 単位（週1時限）
テーマ	講義題目：少人数講義（阿部Ⅱ） 演習テーマ：行動経済学と消費者行動 授業の目標、概要：行動意思決定理論と行動経済学の応用として、人間の非合理的意思決定のメカニズムを考察する。選好逆転現象、プロスペクト理論、フレーミング効果など、実例を通して学ぶ。 授業計画： 1 心理学と経済学と行動意思決定理論 2 限定合理性 3 ヒューリスティクス 4 バイアス 5 プロスペクト理論 6 フレーミング効果 7 選好の相対性 8 時間選好 9 社会選好 授業の方法：主に教科書を輪読。担当の章を要約し、関心のあるケースを調査して、パワーポイントで報告、発表。			
	テキスト	教科書：『大学4年間の行動経済学が10時間でざっと学べる』阿部 誠、KADOKAWA 参考書：サクッとわかる ビジネス教養『行動経済学』阿部誠（監修）、新星出版社 新版『行動経済学』大垣昌夫、田中沙織、有斐閣 『東大教授が教えるヤバいマーケティング』阿部 誠、KADOKAWA 『行動経済学』依田高典、中公新書 『予想どおりに不合理（増補版）』ダン・アリエリー（著）、熊谷 淳子（訳）、早川書房 『不合理だからすべてがうまくいく』ダン・アリエリー（著）、櫻井祐子（訳）、早川書房 『行動意思決定論：バイアスの罠』ベイズーマン・ムーア（著）、長瀬勝彦（訳）、白桃書房 『セイラー教授の行動経済学入門』リチャード・セイラー（著）、篠原勝（訳）、ダイヤモンド社 『行動経済学：経済は「感情」で動いている』友野典男、光文社新書 『行動意思決定論：経済行動の心理学』竹村和久、日本評論者 『ファスト&スロー』（上）（下）ダニエル・カーネマン（著）、村井章子（訳）、早川書房		成績評価方法
		出席、質疑応答、発表。期末試験は行わない。		

選考方法・履修上の注意	履修上の注意： ●申込書類：特になし ●選考方法：特にないが、事前に参考書に目を通して自分のレベルに適切かを判断の上で履修を決めること。 ●募集人員：15 名程度 ●次年度以降の開講予定の有無： 有
--------------------	---

時間割コード：0704827		担当教員：松井 彰彦（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（松井Ⅰ） 演習テーマ：応用ミクロ経済学 授業の目標、概要：ミクロ経済学（市場理論・ゲーム理論）とその応用を学ぶ。知識の習得以上に論理的思考の訓練に重点を置く。また、社会的障害の経済研究も学習範囲に含める。 担当教員のホームページ（ http://www.amatsui.e.u-tokyo.ac.jp/index_j.html ）に詳細を載せるので併せて参照のこと。 授業計画：テーマを決め、書籍ないし論文を読む 授業の方法：輪読					
テキスト		教科書：HP 参照 参考書：HP 参照		成績評価方法		出席、発表、3年生はゼミ論、4年生は卒論必修（※ゼミ論は卒論につながるプロポーザル的なものでかまわない）	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：選考あり、詳しくは経済学部の演習の選考方法に関する情報を参照のこと。 「少人数講義」としての開講であるが、運営はゼミ（演習）と同等である。 少人数講義ⅠとⅡ双方に応募すること。片方のみの履修は認めない。 その他：他学部で関心のある学生はメールにて問い合わせること 同教員の少人数講義Ⅱも併せて履修すること					

時間割コード：0704828		担当教員：松井 彰彦（Ⅱ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（松井Ⅱ） 演習テーマ：応用ミクロ経済学 授業の目標、概要：ミクロ経済学（市場理論・ゲーム理論）とその応用を学ぶ。知識の習得以上に論理的思考の訓練に重点を置く。また、社会的障害の経済研究も学習範囲に含める。 担当教員のホームページ（ http://www.amatsui.e.u-tokyo.ac.jp/index_j.html ）に詳細を載せるので併せて参照のこと。 授業計画：テーマを決め、書籍ないし論文を読む 授業の方法：輪読					
テキスト		教科書：HP 参照 参考書：HP 参照			成績評価方法	出席、発表、3年生はゼミ論、4年生は卒論必修（※ゼミ論は卒論につながるプロポーザル的なものでかまわない）	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：選考あり、詳しくは経済学部の演習の選考方法に関する情報を参照のこと。 「少人数講義」としての開講であるが、運営はゼミ（演習）と同等である。 少人数講義ⅠとⅡ双方に応募すること。片方のみの履修は認めない。 その他：他学部で関心のある学生はメールにて問い合わせること 同教員の少人数講義Ⅰも併せて履修すること					

時間割コード：0704853W		担当教員：下津 克己（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時間）		
テーマ		講義題目：少人数講義（下津Ⅰ） 演習テーマ：計量経済学理論・実証計量経済学 授業の目標、概要：計量経済学は、観察されたデータと経済学的仮説との関係を統計的に検証する学問である。本演習は、計量経済学の知識を身につけ、実際のデータの解析に応用できる能力を習得することを目標とする。計量経済学の理論分析に関心を持つ学生、実際の経済問題を解明する実証分析に関心を持つ学生のどちらも歓迎する。実証分析の分野としては、労働経済学、産業組織論、ファイナンスなどの分野を主に想定する。 授業計画：3 年次生の S1S2 は、テキストを輪読して、基礎的な計量経済学・統計学の知識を修得する。 3 年次生の A1A2 と 4 年次生は、学術雑誌に刊行された実証分析の論文を報告し、実証分析に対する理解を深めるとともに、卒業論文作成に向け、各自が個別のテーマについて学習し報告を行う。 授業の方法：輪読・演習						
テキスト		教科書：参加者と相談して決めるが、西山・新谷・川口・奥井「計量経済学」有斐閣に近いレベルのものをを用いる。 4 年次には、スティーヴン・レヴィット 「ヤバい経済学」の元論文を容易に理解できるレベルに到達することを目標とする。 参考書：西山・新谷・川口・奥井「計量経済学」有斐閣			成績評価方法	報告内容と平常点に基づく。		
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 申込書類：所定用紙の他に参加希望の理由についてレポート(枚数自由)を提出する。 選考方法：申込書類による。 新規参加人員：4-6 名程度。 その他：3 年終了時までには「計量経済学」もしくは「数理統計」の単位を取得することが望ましい。						

時間割コード：0704854W		担当教員：下津 克己（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時限）		
テーマ		講義題目：少人数講義（下津Ⅱ） 演習テーマ：計量経済学理論・実証計量経済学 授業の目標、概要：計量経済学は、観察されたデータと経済学的仮説との関係を統計的に検証する学問である。本演習は、計量経済学の知識を身につけ、実際のデータの解析に応用できる能力を習得することを目標とする。計量経済学の理論分析に関心を持つ学生、実際の経済問題を解明する実証分析に関心を持つ学生のどちらも歓迎する。実証分析の分野としては、労働経済学、産業組織論、ファイナンスなどの分野を主に想定する。 授業計画：3年次生の S1S2 は、テキストを輪読して、基礎的な計量経済学・統計学の知識を修得する。 3年次生の A1A2 と 4年次生は、学術雑誌に刊行された実証分析の論文を報告し、実証分析に対する理解を深めるとともに、卒業論文作成に向け、各自が個別のテーマについて学習し報告を行う。 授業の方法：輪読・演習						
テキスト		教科書：参加者と相談して決めるが、西山・新谷・川口・奥井「計量経済学」有斐閣に近いレベルのものをを用いる。 4年次には、スティーヴン・レヴィット 「ヤバい経済学」の元論文を容易に理解できるレベルに到達することを目標とする。 参考書：西山・新谷・川口・奥井「計量経済学」有斐閣			成績評価方法	報告内容と平常点に基づく。		
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 申込書類：所定用紙の他に参加希望の理由についてレポート(枚数自由)を提出する。 選考方法：申込書類による。 新規参加人員：4-6 名程度。 その他：3 年終了時までには「計量経済学」もしくは「数理統計」の単位を取得することが望ましい。						

時間割コード：0704862		担当教員：尾山 大輔（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（尾山Ⅰ） 演習テーマ：経済理論演習Ⅰ 授業の目標、概要：ものごとを論理的に考察する能力を養う。今年度は、数学あるいは数理経済学の文献を輪読する。 授業計画：教科書の担当範囲を担当者が解説する。 授業の方法：演習					
テキスト		教科書：4月初旬のガイダンス時に指示します。 参考書：TBA			成績評価方法	出席，発表，討論への貢献	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 学部所定の申込書類および駒場（教養学部）の成績表に加えて，自己紹介，本演習参加希望の理由などをまとめたものを提出してください（分量自由）。提出書類と面接にもとづいて選考します。 ・「少人数講義（尾山Ⅰ）」（S1S2）と「少人数講義（尾山Ⅱ）」（A1A2）双方に応募すること。片方のみの履修は認めない。 ・大学院生の参加を歓迎します。 ・www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/zemi 参照のこと。					

時間割コード：0704863		担当教員：尾山 大輔（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（尾山Ⅱ） 演習テーマ：経済理論演習Ⅱ 授業の目標、概要：ものごとを論理的に考察する能力を養う。今年度は、数学あるいは数理経済学の文献を輪読する。 授業計画：教科書の担当範囲を担当者が解説する。 授業の方法：演習					
テキスト		教科書：4月初旬のガイダンス時に指示します。 参考書：TBA			成績評価方法	出席，発表，討論への貢献	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 学部所定の申込書類および駒場（教養学部）の成績表に加えて，自己紹介，本演習参加希望の理由などをまとめたものを提出してください（分量自由）。提出書類と面接にもとづいて選考します。 ・「少人数講義（尾山Ⅰ）」（S1S2）と「少人数講義（尾山Ⅱ）」（A1A2）双方に応募すること。片方のみの履修は認めない。 ・大学院生の参加を歓迎します。 ・ www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/zemi 参照のこと。					

時間割コード：0704871		担当教員：Griffen Andrew Shields（I）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（グリフェン I） 演習テーマ：Python for Data Science 授業の目標、概要：We will go through the book Python Data Science Handbook by Jake VanderPlas. This will be an introductory course for using Python for Data Science. The seminar will be student led with students presenting code from the book: https://jakevdp.github.io/PythonDataScienceHandbook/ The goal is to get student familiar with programming and better understand Data Science. These skills are increasingly useful and sought-after in the labor market. No prior knowledge of Python is assumed. 授業計画：Tuesdays 6th period 18:45 - 20:30 授業の方法：Student-led presentations					
テキスト		教科書：https://jakevdp.github.io/PythonDataScienceHandbook/ 参考書：NA			成績評価方法	Presentation, attendance, and participation	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：NA					

時間割コード：0704875		担当教員：Griffen Andrew Shields（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（グリフェンⅡ） 演習テーマ：Nobel Prizes in Economics 授業の目標、概要：We will read and discuss nontechnical summaries of Nobel Prizes in Economic Sciences. The idea is for us to learn about Nobel Prize winning research ideas across a wide range of fields. 授業計画：Thursdays 6th period 18:45 - 20:30 授業の方法：Discussion					
テキスト		教科書： 参考書：			成績評価方法	Attendance and participation	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：					

時間割コード：0704872		担当教員：中嶋 智之（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ	講義題目：少人数講義（中嶋Ⅰ）						
	演習テーマ：マクロ経済学						
	授業の目標、概要：マクロ経済学の基礎理論とその応用を学習する。						
	授業計画：マクロ経済学や金融に関する教科書や論文の輪読を行う。						
	授業の方法：輪読						
テキスト	教科書：2024 年度は Daron Acemoglu, Introduction to modern economic growth.				成績評価方法	出席、発表、議論への参加	
	参考書：適宜指示します						
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：応募に際しては、自己紹介と経済（学）に関して興味があるテーマを、A4 用紙 1 枚程度にまとめて、提出してください。						

時間割コード：0704873		担当教員：中嶋 智之（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時間）	
テーマ	講義題目：少人数講義（中嶋Ⅱ）						
	演習テーマ：マクロ経済学						
	授業の目標、概要：マクロ経済学の基礎理論とその応用を学習する。						
	授業計画：マクロ経済学や金融に関する教科書や論文の輪読を行う。						
	授業の方法：輪読						
テキスト	教科書：2024 年度は Daron Acemoglu, Introduction to modern economic growth.				成績評価方法	出席、発表、議論への参加	
	参考書：適宜指示します						
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：応募に際しては、自己紹介と経済（学）に関して興味があるテーマを、A4 用紙 1 枚程度にまとめて、提出してください。						

時間割コード：0704876		担当教員：小島 武仁（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時間）	
テーマ		講義題目：少人数講義（小島武仁Ⅰ） 演習テーマ：Market Design 1（マーケットデザインⅠ） 授業の目標、概要：経済理論とそのマーケットデザイン（制度設計）への応用を学びます。冬学期の少人数講義とともに履修することを前提とします。昨年度はマッチング問題に特に注目して勉強をしました。今年も広い意味でマーケットデザインの勉強を予定していますが、具体的な分野や文献については学生と教員で相談して決定していきます。 授業計画：詳細な説明は授業中に行う 授業の方法：まず基本的な文献を学生発表により学習する。その後、発展的な内容を学びつつ、興味に応じてプロジェクトを行うことを目指す。					
テキスト		教科書： A book manuscript (in Japanese) at https://www.dropbox.com/s/nv6damxtb53u850/matching-theory-textbook-manuscript.pdf?dl=0 Other materials are to be announced. 参考書： For reviewing basic material in matching theory, take a look at lecture slides at https://sites.google.com/site/fuhitokojimaeeconomics/econ-182-spring-2019. Additional information can be obtained from Haeringer, G. (2018) Market Design: Auctions and Matching, MIT Press		成績評価方法		授業中の発表や議論への参加などによる。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： ゲーム理論の基本的な知識があれば望ましいが、必ずしも前提とはしない。とりわけ難しい数学の知識も必要ないが、数学的な議論を丹念に追いかける「辛抱強さ」のようなものが必要である。また、理論を社会実装するという視点を重視するため、既存の理論をしっかり理解することだけでなく応用について創造的に考えることを面白いと感じられることも重要だと思われる。					

時間割コード：0704877		担当教員：小島 武仁（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時間）	
テーマ		講義題目：少人数講義（小島武仁Ⅱ） 演習テーマ：Market Design 2（マーケットデザイン1） 授業の目標、概要：経済理論とそのマーケットデザイン（制度設計）への応用を学びます。夏学期の少人数講義とともに履修することを前提とします。昨年度はマッチング問題に特に注目して勉強をしました。今年も広い意味でマーケットデザインの勉強を予定していますが、具体的な分野や文献については学生と教員で相談して決定していきます。 授業計画：詳細な説明は授業中に行う 授業の方法：まず基本的な文献を学生発表により学習する。その後、発展的な内容を学びつつ、興味に応じてプロジェクトを行うことを目指す。					
テキスト		教科書： A book manuscript (in Japanese) at https://www.dropbox.com/s/nv6damxtb53u850/matching-theory-textbook-manuscript.pdf?dl=0 Other materials are to be announced. 参考書： For reviewing basic material in matching theory, take a look at lecture slides at https://sites.google.com/site/fuhitokojimaeeconomics/econ-182-spring-2019. Additional information can be obtained from Haeringer, G.(2018) Market Design: Auctions and Matching, MIT Press		成績評価方法		授業中の発表や議論への参加などによる。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： ゲーム理論の基本的な知識があれば望ましいが、必ずしも前提とはしない。とりわけ難しい数学の知識も必要ないが、数学的な議論を丹念に追いかける「辛抱強さ」のようなものが必要である。また、理論を社会実装するという視点を重視するため、既存の理論をしっかり理解することだけでなく応用について創造的に考えることを面白いと感じられることも重要だと思われる。					

時間割コード：0704880		担当教員：高橋 悟（I）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（高橋悟 I） 演習テーマ：顕示選好 授業の目標、概要：経済学において、消費者は予算制約のもと効用を最大化するように行動する、とされますが、誰も「効用」を見たことはありません。我々経済学者は、観察不可能な「効用」をパラメータとして含む経済モデルを手に、観察可能なデータに関して何かものを言っているわけで、よく考えてみると、それってすごいことだと思います。この授業では顕示選好理論の講義を行い、経済モデルとデータの関係について詳しく調べます。 顕示選好は担当教員の専門分野から少し離れるトピックですが、受講者の皆さんと一緒に勉強するつもりです。 授業計画：教科書に従って講義を行う。 授業の方法：講義と学生の発表					
テキスト		教科書：Christopher P. Chambers and Federico Echenique, Revealed Preference Theory 参考書：特になし			成績評価方法	宿題と発表	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：この少人数講義は S1S2 タームのみ開講します。					

時間割コード：0704884		担当教員：入江 薫（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（入江Ⅰ） 演習テーマ：時系列データ分析 授業の目標、概要：時間の経過とともに観測されるデータを時系列データという。この少人数講義では定評のある書籍を輪読し、時系列データ分析について学習する。また実際の計算のためのプログラミング演習も行う。 授業計画：指定教科書の一章～四章を学習する。 授業の方法：輪読形式。講義ごとに担当者を決めて、割り当てられた章・節・ページの内容を解説してもらう。指定の演習問題を解いたり、作成したプログラムの実演をしたりしてもらうこともある。					
テキスト		教科書：Prado, R., Ferreira, M. A., & West, M. (2021). Time Series: Modeling, Computation, and Inference. (2nd edition) Chapman and Hall/CRC. 参考書：適宜紹介する。		成績評価方法		出席、報告、質問やコメントなどの発言を評価する。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意： 申込書類：成績表とエッセイ（大学入学以降に関心をもって学習・研究してきたことと、後期課程でやりたいことについて書いてください。統計学に関するものでなくてもかまいません。） 選考方法：書類による。 募集人数：各学年 5, 6 人程度 履修の前提となる知識：「統計Ⅰ,Ⅱ」の内容					

時間割コード：0704885		担当教員：入江 薫（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（入江Ⅱ） 演習テーマ：時系列データ分析 授業の目標、概要：前期の学習成果を踏まえ、受講者の関心に沿って輪読による学習を続ける。 授業計画：前期の受講者に輪読する本・論文を決めてもらう。確率論・ベイズ統計学・時系列分析に関する本・論文をいくつか紹介する予定である。意見が対立する場合には、指定書籍を用いる。 授業の方法：前期と同様に、輪読を行う。					
テキスト		教科書：Prado, R., Ferreira, M. A., & West, M. (2021). Time Series: Modeling, Computation, and Inference. (2nd edition) Chapman and Hall/CRC. 参考書：別途指示する。			成績評価方法	出席、報告、質問やコメントの発言を評価する。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：前期からの継続履修を前提とする。					

時間割コード：0704886		担当教員：稲水 伸行（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時間）	
テーマ		講義題目：少人数講義（稲水Ⅰ） 授業の目標、概要：本講義では、経営学・組織行動論に関する文献の輪読及び事例を交えたディスカッションを通じて、基本的な知識の習得及び実践のための視点を養うことを目的とする。その上で、学術的にも実務的にも評価されうるような卒業論文の作成を目標とする。 授業計画：経営学・組織行動論に関するテキスト（例えば海外 MBA で標準的に使われているもの）を輪読する。合わせて、各回に関連するトピックを扱ったケース等を取り上げ、グループ・ディスカッションを行い、理解を深める。そのほか、適宜、卒業論文等の研究テーマについて進捗報告を行ってもらう。 授業の方法：各回の前半：報告担当者/グループには、指定文献について A4 で 5 枚程度のレジюмеを作成し内容を報告してもらう（30 分程度）。報告担当でない人も事前に指定文献を読み、質問・コメントを準備して出席すること。それらをもとにディスカッションを行い、経営学・組織行動論に関する理解を深めてもらう。 各回の後半：指定されたケースについてグループに分かれてディスカッションを行う（30 分程度、講義中にはケース等の教材を読む時間を取らないため、事前に読み込んで来ること）。その後、各グループでの討議内容を報告してもらい、全体でまとめの議論を行う（20 分程度）。また、場合によっては、卒業論文の進捗等をプレゼンテーションしてもらい、それをもとにディスカッションを行う。					
テキスト		教科書：詳細は開講時に指示するが、現段階では下記を予定している。		成績評価方法		出席及び講義内でのディスカッションの参加状況によって評価する。	
テキスト		・ Daft, R. L. (2015). Organization theory & design (12th ed ed.). Boston, Mass.: Cengage Learning. エッセンシャルズ版の訳, R.L. ダフト(2002)『組織の経営学』高木晴夫訳. ダイヤモンド社.					
選考方法・履修上の注意		・ Robbins, S. P., & Judge, T. (2016). Organizational behavior (17th ed., global ed ed.). Boston: Pearson. エッセンシャルズ版の訳, S.P.ロビンズ(2009)『組織行動のマネジメント：入門から実践へ』高木晴夫訳. ダイヤモンド社.					
履修上の注意：							
・ 申込書類：下記①～③についてまとめ、氏名、連絡先(e-mail)とともに inamizu<at>e.u-tokyo.ac.jp まで送信すること。							
①「組織の中で困難を乗り越えて課題を克服した経験と、その中で自分がどのような働きをしたのかについて、1500~2000 字で記述してください。」							
②「駒場の経営の授業で扱った内容など、組織論に興味を持った内容とその理由について実体験と紐付けながら 500~1,000 字で記述してください。」							
③「あなたが稲水ゼミに入った後にやりたいことを 500 字程度で記述してください。」							
・ 選考方法：上記書類及びそれに基づいた面接により選考する。							
・ 新規募集人員：10 名程度							
・ 2024 年度以降の開講予定の有無：有							

時間割コード：0704887		担当教員：高橋 明彦（Ⅰ）		開講学期：S1S2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（高橋明彦Ⅰ） 演習テーマ：数量ファイナンス 授業の目標、概要：数量ファイナンスの基礎的知識の習得。 授業計画：ファイナンスの基礎的事項とそれに必要な数理的知識の習得を目標に、参加者全員で関連文献を精読。 授業の方法：ファイナンスの基礎に関する本、論文の輪読。					
テキスト		教科書：未定 参考書：未定			成績評価方法	出席回数と参加者の発表に基づき決定。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：若干名の参加を想定。S1S2 と A1A2 の開講日時は異なるが、演習と同様に通年の参加を想定。					

時間割コード：0704888		担当教員：高橋 明彦（Ⅱ）		開講学期：A1A2		単位数：2 単位（週1時限）	
テーマ		講義題目：少人数講義（高橋明彦Ⅱ） 演習テーマ：数量ファイナンス 授業の目標、概要：数量ファイナンスの基礎的知識の習得。 授業計画：ファイナンスの基礎的事項とそれに必要な数理的知識の習得を目標に、参加学生全員で関連文献を精読。 授業の方法：ファイナンスの基礎に関する本、論文の輪読。					
テキスト		教科書：未定 参考書：未定			成績評価方法	出席回数と参加者の発表に基づき決定。	
選考方法・履修上の注意		履修上の注意：若干名の参加を想定。S1S2 と A1A2 の開講日時は異なるが、演習と同様に通年の参加を想定。					

時間割コード：0704889	担当教員：楡井 誠（Ⅰ）	開講学期：S1S2	単位数：2 単位（週1時限）
テーマ	講義題目：少人数講義（楡井Ⅰ） 演習テーマ：マクロ経済モデルであそぶ 授業の目標、概要：現代のマクロ経済モデルの基礎的な骨格を理解し、数値的解法を学ぶことにより、実際のデータに即した経済分析を自分でできるようになる。 授業計画： 4/23 概説、輪読スケジュール 4/30 実物的景気循環モデル（教科書1章） 5/14 実物的景気循環モデル 5/21 定常均衡の計算と日本経済データ 6/4 異質的家計・企業マクロモデル（3章） 6/11 異質的家計・企業マクロモデル 6/18 異質的モデルの定常均衡の数値計算 6/25 異質的モデルの定常均衡の数値計算 7/2,9,16 復習／その他のモデル（世代重複モデル、ニューケインジアンモデル（2章）、資産価格（6章1節）など） 授業の方法：参加者による報告、および講義と実習		
テキスト	教科書：楡井誠『マクロ経済動学—景気循環の起源の解明』有斐閣（2023） 参考書：特になし	成績評価方法	報告と平常点
選考方法・履修上の注意	履修上の注意：マクロ経済学Ⅰ・Ⅱを履修のこと。プログラミングスキルは前提としない。 マクロモデルをとりあえず数値計算して日本経済データと突き合わせ、疑問に思う点を共有する、という経験を得ることを重視する。教科書の理論を細部まで理解する必要はない。とはいえ、予習して来なければ得るものは少ないだろう。		

Ⅲ その他、諸手続等

Ⅲ その他、諸手続等

1. 経済学部教務チーム学部担当

1) 届出を必要とする諸手続は、所定用紙をもって、教務チーム学部担当に提出を行う必要があります。UTOL (UTokyo LMS)、電子メール、窓口又は郵送等による提出を受け付けています。窓口では本人確認を行いますので、学生証を必ず持参するようにしてください。

2) 窓口業務時間は次のとおりです。

—10:00～12:00、13:00～15:00（土日・祝祭日を除く）

※窓口業務時間は、変更となる場合があります。最新の情報については、下記2. 2) の経済学部 WEB サイトを確認してください。

2. 告知等

1) 経済学部における授業・行事日程及びその他、学生への周知事項は、基本的にはすべて UTAS に掲出することにより行いますので、常に確認するようにしてください。

2) なお、一部の情報については、次の経済学部 WEB サイトにも掲載していますので、参照してください。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/>

3) 緊急時の連絡手段となるため、UTAS の「住所」「電話番号」「メールアドレス」については、常に最新のものを登録・更新するようにしてください。併せて、各自のメールアドレスについて、UTAS 等からの電子メールを常に受信可能な設定にしておいてください。

また、「保護者連絡先」に変更がある場合には、教務チーム学部担当に申し出てください。

3. 転学科について

- 1) 3年生のうち次年度の4月からの転学科の願出を行う学生は、2月上旬に、転学科願を教務チーム学部担当に提出してください。

4. 休学について

- 1) 休学を許可することができる事由は、学生の休学の基準（経済学部便覧参照）に定められています。
- 2) 休学の願出を行う学生は、休学開始の1ヶ月前までに、休学願を教務チーム学部担当に提出してください。
- 3) その中でも、経済的理由による休学（学生の休学の基準第1条第3項）の場合、許可することができる期間は、半年もしくは1年となります。
—半年（4月1日～9月30日もしくは10月1日～3月31日）
—1年（4月1日～3月31日もしくは10月1日～9月30日）

5. 卒業決定者の判定について

- 1) 経済学部における卒業時期は、3月もしくは9月となります。
- 2) 9月の卒業決定者については、東京大学経済学部規則第31条により、対象学生のうち9月卒業見込届の提出のあった学生についてのみ、判定を行うこととなります。
- 3) 3月の卒業決定者については、東京大学経済学部規則第31条により、対象学生の全てについて、判定を行うこととなります。
- 4) 卒業決定者の判定に際しては、休学中の学生については、対象外となります。
—3月卒業を予定している在学延長者のうち、経済的理由による休学を希望する場合には、上記4. 2)の期限までに、4月1日～9月30日の休学を願い出る必要があるため、十分注意すること。（ただし、履修登録を行うことができるのはA1ターム・A2タームのみとなるため、十分注意すること。）

＜参考＞卒業見込届とは、4年生が自ら卒業必要単位の確認を行い、併せて学位記記載事項の最終確認を行うため、届出を必要とする事項になります。

・9月卒業の場合、3月卒業延期となった学生で9月卒業を希望する学生のみ、6月上旬に、9月卒業見込届を提出する必要があります。

・3月卒業の場合、全ての4年生は、12月上旬に、卒業見込届もしくは卒業延期届を提出する必要があります。(卒業延期届を提出した場合であっても、上記5. 3)による3月の卒業決定者の判定を行うことになり、卒業要件を満たしている場合には卒業となります。)